令和４年度　事業報告書

2023.5.25

特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター

はじめに

本年度の何よりも大きな変化は、夏以降、ほぼ 3 年ぶりに海外のレジデンス・アーティストの来日、滞在が可能になったことだ。そして国内外含めて、レジデンス希望者の数が拡大し、短期長期合わせて目標値を上まわる数値を残した。結果的にアーティスト同士の交流も活発化し、徐々にパーティーやミーティング等の人数制限も緩くなり、年度末には制限をほぼ解除した。

そして、NPO 設立以来はじめて「黄金町バザール」を開催しない年とし、その代わりに日常的な賑わいを目標として年間のプログラムを組んだ。年度はじめはスタッフの入れ替わりが多く、事業のスタートが遅れたが、ショップの他、ギャラリーmade in Koganecho の常時オープンと高架下スタジオ Site-A ギャラリーの企画展を増やすなど、それらの運営を日常的な業務として行なった。また夏休みには「夏休み子どもバザール」のタイトルで地域の人たちや大学の協力のもと、複数のアーティストによるワークショップを行い、その成果を夏休み終わりに展示した。

例年の「黄金町バザール」の時期には海外のゲストアーティスト 6 組による「交流再来」展を開催した。国際交流についてはこの他東アジア文化都市事業として韓国の光州広域市とリアルでの交換プログラムを再開、中国の泉州市とは世界遺産登録を記念した展示を黄金町で行い、私たちの近年の活動を紹介するデータを先方に送った。

年度末近く、高架下スタジオ Site-A ギャラリーでは新旧の福岡のアーティストを紹介するグループ展を開催し、それに合わせて平成 20 年以来数度のワークショップを実施していた安部泰輔を久々に招聘してワークショップを行なった。

令和 4 年度の目標として掲げていた、より範囲を広げた活動は無印良品、京急百貨店等の協力により、それぞれワークショップと展示を実施し、また前年度の「横浜あの街を歩く」の振り返りと今後の展望についての展示を高架下スタジオ Site-A ギャラリー「草枕プロジェクト II」として開催した。また、同じ創造界隈拠点である BankART1929 や象の鼻テラスとの協働については次年度以降の実施を見据えて、継続的な協議を行っている。施設改修については今後の活用に向けて、アーティストの利便性を考慮しながら、複数の物件を対象に進めている。

そして本年度から、当初の計画にはなかったが、旧事務所であるステップ・スリーを地域や学生、アーティストの連携の拠点として運営を始めた。我々としては現在唯一の大通りに面した管理施設であり、今後も地域に近い場所としての性格を生かして活用していきたい。

協議会の業務については業務の一部を外部に委託することによって、スタッフの仕事量の軽減を図った。

日常的な賑わいという意味では数字的にはあるいは目標に到達しているかもしれないが、やはりときどきは目に見えて賑わいのある風景を何らかの形で作っていくことが今後は必要ではないかと思う。

のきさきアートフェアとはつこひ市場（マルシェ）の連携は開催日が毎回雨に見舞われ、予想ほどの動員に達しなかった。

最後に、フィリピン出身のレジデンス・アーティスト、ラルフとネスがドイツ、カッセルのドクメンタ 15 にフィリピンのアート・コレクティブのメンバーとして参加したことを報告しておきたい。

黄金町エリアマネジメントセンター　事務局長
黄金町バザール　ディレクター
山野真悟

目次

はじめに P.1
1. アーティスト・イン・レジデンス（AIR） P.3
2. 施設貸出 P.10
3. 国際交流事業 P.13
4. 夏休み子どもバザール P.21
5. 展覧会・イベント企画 P.28
6. made in Koganecho P.34
7. のきさきアートフェア P.37
8. 黄金町芸術学校 P.41
9. 黄金町バザールサポーター P.45
10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営 P.48
11. 地域支援活動 P.58
12. その他事業 P.61
13. 広報 P.65

１．アーティスト・イン・レジデンス

1．アーティスト・イン・レジデンス（AIR）

1-1. 全体概要

アーティストやクリエイターを対象に、高架下スタジオや周辺の小規模スタジオを貸し出し、アーティスト・イン・レジデンス事業を行っている。本年度は長期・短期ともに定期的な公募を実施した。また、海外からの渡航制限が緩和されたことにより海外アーティストの受け入れを再開した。長期、短期ともに入居者数が増加したことにより施設の年間稼働率も上昇した。また、アーティスト支援として、英語教室やインボイス制度に関する講座を実施した。

1-2. 令和 4 年度 AIR 公募

本年度は 1 年単位の長期レジデンスを年 3 回、3 ヶ月単位の短期レジデンスを年 4 回ずつ募集した。

◆募集スケジュール

募集時期｜ [長期]令和 4 年 3 月、8 月、令和 5 年 2 月

[短期]令和 4 年 3 月、8 月、11 月、令和 5 年 2 月

表 1-2-1 令和 4 年度の募集スケジュール

令和 4 年											令和 5 年		
3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
募集 →	審査 →	入居											
					募集 →	審査 →	入居						
								募集 →	審査 →	入居			
								※短期のみ募集			募集 →	審査 →	入居

◆施設見学

募集期間中に見学日を設け、希望者に対して施設見学会を実施した。

表 1-2-2 令和 4 年度の施設見学対応数

実施月	対応件数
8 月	5 件
11 月	4 件
12 月	6 件

◆応募状況

令和 4 年度の応募件数並びに採用件数は下記の通りとなった。

応募件数｜［長期］14 件（国内 9 件、海外 5 件）　［短期］20 件（国内 5 件、海外 15 件）

採用件数｜［長期］6 件（国内 4 件、海外 2 件）　［短期］19 件（国内 4 件、海外 15 件）

※令和 5 年 3 月 31 日時点まとめ。

※日本在住外国籍は海外に含む

1-3. 長期／短期レジデンスプログラム

長期レジデンスプログラムは１年間の滞在を基本としたプログラムであり、レジデンス・アーティストには自身の制作活動に加え、地域のイベントなどへの日常的な参加を期待している。短期レジデンスプログラムは３ヶ月間の滞在期間を基本としており、海外アーティストのほか、リサーチや短期集中の制作活動を行う国内アーティストが参加している。

◆長期レジデンス・アーティスト数

令和４年度の長期レジデンス・アーティストの総合計は 41 組 44 名となった。内、5 名が新しく入居、5 名が退去している。尚、短期レジデンス・アーティストが増えたことにより、これまで長期向けに貸し出していた物件を短期向けに転用したため長期貸出物件数は減少している。

表 1-3-1 管理物件数と長期レジデンス・アーティスト数

年度	総管理物件数（戸）	長期貸出物件数（戸）	アーティスト数
令和３年度	109 戸	63 戸	41 組 45 名
令和４年度	109 戸	53 戸	41 組 44 名

※令和５年３月 31 日時点まとめ。

◆短期レジデンス・アーティスト数

本年度より、海外からの渡航が可能となったため、前年度に応募をしていた海外アーティストが多数来日した。16 組中 12 組が海外出身のアーティストであり、国籍や世代を問わず同時期に滞在するアーティストと活発に交流を行っている。

表 1-3-2 短期レジデンス・アーティスト数

年度	アーティスト数
令和３年度	7 組 9 名
令和４年度	16 組 19 名

◆アーティスト連絡会議

アーティスト間の情報共有や交流を図ることを目的に毎月１回の定例会議を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としてオンライン参加と少人数限定の高架下スタジオ Site-D 集会場でのオフライン参加とを並行して実施した。また、海外アーティストが増え、アーティスト同士の交流が活性化してきたことに伴い、定例会議よりもフランクに交流ができ互いの活動について知ることのできる機会を模索し、2 月から月 1 回程度の頻度でプレゼンテーションの機会を設けている。

日 時｜毎月 27 日 17:00～18:00（例外月あり）

実施方法｜オンライン形式とオフライン参加の並行実施

利用システム｜Google Meet

参加人数｜延べ 281 名

表 1-3-3 アーティスト連絡会議の実施日と出席人数

実施日	出席人数	実施日	出席人数
令和 4 年 4 月 27 日（水）	26 名	令和 4 年 10 月 27 日（木）	28 名
令和 4 年 5 月 27 日（金）	27 名	令和 4 年 11 月 27 日（日）	23 名
令和 4 年 6 月 27 日（月）	21 名	令和 4 年 12 月 17 日（土）	17 名
令和 4 年 7 月 27 日（水）	21 名	令和 5 年 1 月 27 日（金）	24 名
令和 4 年 8 月 27 日（土）	25 名	令和 5 年 2 月 27 日（月）	16 名
令和 4 年 9 月 29 日（火）	22 名	令和 5 年 3 月 27 日（月）	31 名

写真 1-3-4 アーティスト連絡会議の様子

1-4.アーティスト支援

本年度はアーティスト自身が企画した展示やオープンスタジオ等のイベントが行われ、管理施設を会場として貸し出すほか広報等の支援を行った。また、レジデンス・アーティストの発案をもとに「黄金町アーティストカレンダー2023」を制作した。その他、アーティスト向けの英語教室とインボイス制度についての講座を行った。

◆レジデンス・アーティスト主催の展示・オープンスタジオ

レジデンス・アーティストの自主的な活動として、個展やオープンスタジオが行われた。

表 1-4-1 レジデンス・アーティスト企画によるイベント数

種類	件数
展示	3 件
オープンスタジオ	1 件
イベント	2 件

写真 1-4-1「音の跡」の様子

1．アーティスト・イン・レジデンス（AIR）

◆黄金町アーティストカレンダー2023

レジデンス・アーティストによる「黄金町アーティストカレンダー2023」を制作した。各月のアートワークを 12 名のアーティストそれぞれ担当し、黄金町の風景をサイアノタイプ（青写真）の手法で現像した上に各々がイラストや刺繍、文章等を加えたイメージによって構成されている。

◆黄金町アーティストカレンダー2023

発行部数｜250 部

アーティスト｜

ピンリン・ファン、アリアネ・メルシエ・ボー、宮内由梨、福井祐介、ジョナガミ・ラボ、

宮地祥平、キム・ガウン、小林誠一、寺島大介、ナイージャ・ナイン、平山好哉、太田るなシャワ

写真 1-4-2、1-4-3 黄金町 AIR カレンダー2023

◆入居者向け講座

レジデンス・アーティストを対象に英語教室とインボイス制度に関する講座を実施した。

①アーティストのための英語教室

レジデンス・アーティストを対象とした英語教室を実施した。海外アーティストとのコミュニケーション力を高めるため前年度から継続している基礎力を高めるリスニング講座や英会話講座のほか、海外での活動を視野に入れ英語で自身の作品や活動のプレゼンテーションを行うためのポイントや資料づくりについてレクチャーした。

アーティストのためのリスニング講座
日 程｜令和 4 年 4 月 6 日(水) 計 3 回
実施方法｜オンライン形式
利用システム｜Zoom
参加人数｜延べ 6 名

アーティストのための英会話講座
日 程｜令和 4 年 4 月 13 日(水)、4 月 20 日(水)、4 月 27 日(水)、
5 月 11 日(水)
実施方法｜オンライン形式
利用システム｜Zoom
参加人数｜延べ 15 名

英会話＆ヒアリングアップ講座
日 程｜令和 5 年 1 月 21 日(土)、1 月 28 日(土)
実施方法｜対面
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
参加人数｜延べ 9 名

英語プレゼンテーション講座
日 程｜令和 5 年 2 月 4 日(土)、2 月 18 日(土)
実施方法｜対面
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
参加人数｜延べ 9 名

写真 1-4-4 英語プレゼンテーション講座の様子

②インボイス制度関連講座

レジデンス・アーティストを対象に令和 5 年 10 月から開始されるインボイス制度について、制度の概要やアーティストへの影響などを解説する講座を実施した。

アーティスト向けインボイス制度関連講座「インボイス制度 免税事業者はどうする？」
時 間｜令和 5 年 1 月 27 日(金)
実施方法｜オンラインおよび対面
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

1-5.コンバージョンの実施

横浜市の借上げた小規模店舗や高架下施設を中心に、アーティスト等が利用するスタジオや展示会場へのコンバージョンを実施した。

◆改修例

横浜市の借上げた小規模店舗や高架下施設を中心に、アーティスト等が利用するスタジオへのコンバージョンを実施した。本年度は 4 棟 8 レジデンスの改修工事を進めている。

a) 山本アパート
展示空間として利用していた山本アパートを、３つの個室と展示空間にも使えるアトリエ空間を持ったシェアスタジオに改修中である。
用途｜シェアスタジオ兼展示スペース
改修内容｜既存壁・床の撤去、木工事、設備工事、内装仕上工事

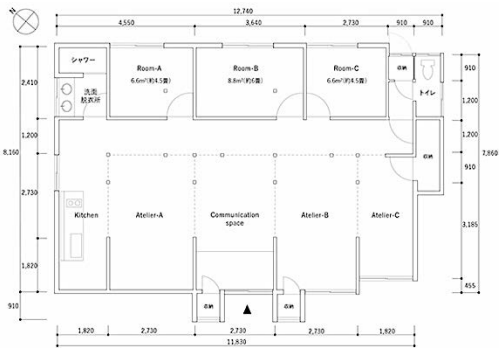


図 1-5-1 山本アパート平面図

写真 1-5-2 山本アパートの様子

b)八光・都

横浜市が新たに借り上げた施設をアーティストのスタジオとして改修中である。

用 途｜スタジオスペース

改修内容｜既存壁・床の撤去、木工事、設備工事、
内装仕上工事

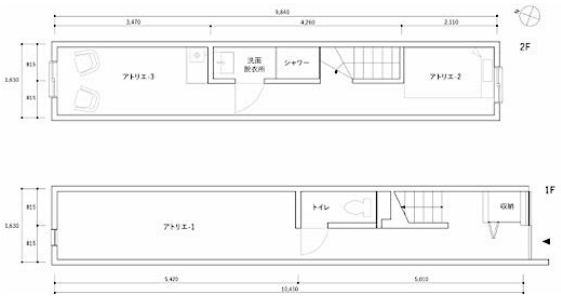


図 1-5-3 八光・都平面図

c)アムロ

以前は、一階部分を展示室としてのみ使用していたが、1 階、2 階全てをアーティストがスタジオとして利用できるよう改修中である。

用 途｜スタジオスペース

改修内容｜既存壁・床の撤去、木工事、設備工事、
内装仕上工事

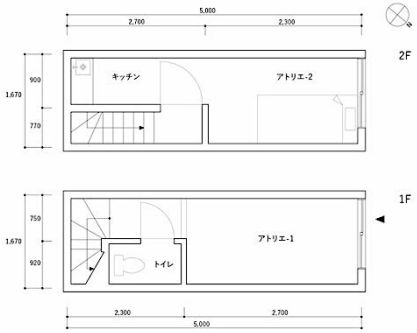


図 1-5-4 アムロ平面図

d)ハツネウイング C4(蘭)

横浜市が新たに借り上げた施設をアーティストのスタジオとして改修中である。

用 途｜スタジオスペース

改修内容｜既存壁・床の撤去、木工事、設備工事、
内装仕上工事

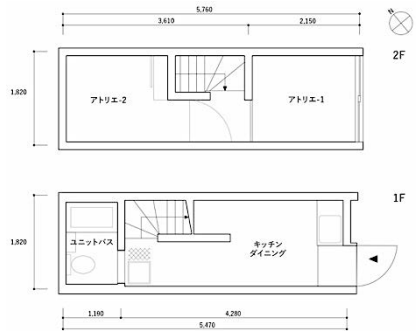


図 1-5-5 ハツネウィング C4 平面図

2. 施設貸出

2. 施設貸出

2-1. 概要

施設貸出は、創造的な活動（展示、制作、制作のための滞在）の支援、活発な地域の活動（イベントの実施）支援等を目的として、当 NPO の管理施設を短期的に貸し出す取り組みであり、最短 1 日(時間貸し)から最長 3 ヶ月の間で施設のレンタルを行っている。

◆施設の分類と施設数

用途によって施設を、a)スタジオ、b)レジデンス、c)多目的スペース、d)ギャラリーに分類している。

令和 5 年 3 月現在、短期間の貸出対象として主に 11 件の施設を活用している。また、長期入居優先の施設であっても、入居がない間は短期貸出を行った。

表 2-1-1　短期間貸出施設一覧

No.	施　設　名	用　途
1	高架下スタジオ Site-C 工房	スタジオ
2	初音スタジオ B1	レジデンス
3	初音スタジオ B2	
4	初音スタジオ B3	
5	八番館レジデンス	
6	MOMO レジデンス	
7	黄金スタジオキッチン	多目的スペース
8	高架下スタジオ Site-D 集会場	
9	かいだん広場	
10	高架下スタジオ Site-A ギャラリー	ギャラリー
11	八番館	

◆利用件数

本年度は、後半からイベント・滞在ともに増え、利用件数は前年度に比べて大きく増加した。なお、滞在利用については AIR の項で別途記載する。

表 2-1-2 利用件数・前年度比較

年　度	利用件数
令和 3 年度	36 件
令和 4 年度	46 件

◆利用用途

利用用途の内訳は、下記表の通りである。

表 2-1-3 利用用途

用　途	件数
イベント	37
日替わりオーナー	5
ワークショップ	1
撮影	3
勉強会	2
会議	3
制作	2
展示	8
演劇稽古	2
ダンス公演	1
販売	1
福祉	2
選挙会場	1

● 利用例【展示】キム・ハク　生きるⅣ

写真 2-1-4 展示の様子　撮影：木奥惠三

3. 国際交流事業

3．国際交流事業

3-1．概要

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会状況が改善し、徐々にコロナ禍前のような日常に戻ってきた年であった。その中で、アーティスト派遣や受入れなどを再開し、多くの海外の機関と直接的な交流事業を再開することができた。また、新型コロナウイルス感染症によって社会状況が未だに改善されていない国の機関に対してはオンライン上で交流を続け、渡航制限の解除を見据えながら積極的に準備を進めた。オフライン・オンラインの交流を上手く活用することで、以前のような積極的な国際交流が早期に再開できることを期待する。

また、毎年秋に実施している「黄金町バザール」に代わり、海外の協力団体から招聘したゲストアーティストによる「黄金町国際 AIR プログラム 2022」を開催した。

3-2．各団体との実施状況

◆A4 Art Museum（中国・成都市）

中国・成都市の A4 Art Museum とは、互いにアーティストを派遣し合う交換プログラムを平成 28 年度から実施している。昨年度同様に、日本・中国間の渡航は新型コロナウイルス感染症の影響により難しい状況であり、中国から黄金町への渡航受入れは見送りとなった。そのため中国のアーティストはリモートで企画展に参加した。一方、黄金町から成都へのアーティスト派遣は実施となり、レジデンスプログラムに参加する機会を得ることができた。

[派遣アーティスト]

瀧 健太郎

派遣先｜ A4 Art Museum

派遣先滞在期間｜令和 4 年 11 月 26 日(土)～12 月 17 日(土)

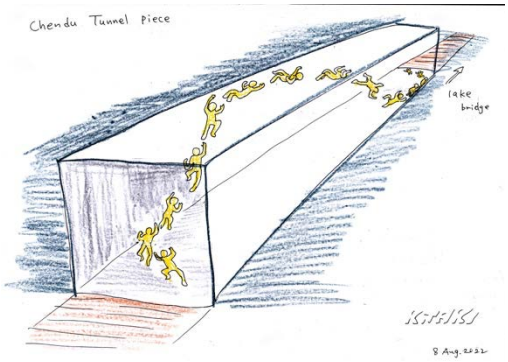


写真 3-2-1

《湖にむけて》仮題、令和 5 年完成予定

＊受入アーティストは「3-3. 黄金町国際 AIR プログラム 2022」参照。

◆泉州市（中国・泉州市）

ユネスコ世界遺産登録となった泉州市に対して、黄金町で泉州市の世界遺産を紹介する展示を行い、交流を再開したいと提案し実現となった。宋元時代の海上貿易を広く紹介するために写真やビデオを展示した。

◆福建省泉州市の世界遺産登録記念展

会 期｜2023 年 1 月 20 日(金)～2 月 5 日(日)

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

写真 3-2-2 展覧会の様子

◆新竹鉄道芸術村（台湾・新竹市）

台湾の新竹鉄道芸術村と継続的なオンライン交流を通じて情報交換をしながら相互機関の特徴を知り、交流プログラムを通じて最終的にアーティストを支援できる方向性を模索している。

◆Space Ppong（韓国・光州広域市）

平成 27 年度より東アジア文化都市交流プログラムとして、韓国光州広域市に拠点を構えるアートスペース Space Ppong と交流を持ち、双方の都市にアーティストを派遣する交換レジデンスプログラムを実施している。令和 4 年度はアーティストの交換レジデンスプログラム実施が叶い、滞在制作ならびに展覧会を行った。黄金町から派遣したアーティスト照沼敦朗は、令和 5 年 4 月に黄金町エリアにて成果展示を発表する予定である。

[派遣アーティスト]

照沼敦朗

派遣先｜Space Ppong

派遣先滞在期間｜令和 4 年 9 月 20 日(火)～11 月 20 日(日)

写真 3-2-3

《ミエテルノゾム君が見た光州》制作風景、令和 4 年

＊受入アーティストは「3-3. 黄金町国際 AIR プログラム 2022」参照。

◆釜山文化財団（韓国・釜山広域市）

釜山文化財団より招待を受け、多様な文化の表現方法について議論するフォーラムに出席した。山野事務局長のほか、ドクメンタのディレクターを務めた、インドネシアのアートコレクティブ「ルアンルプ」のディレクター、アデ・ダルマワン氏と、タイのテンタクル・アート・スペースのヘンリー・タン氏が登壇した。

アジア文化・多様性フォーラム

日 程｜令和 4 年 9 月 30 日(金)

会 場｜Hansung 1918 文化センター（韓国・釜山）

登壇者｜

ソ·サンホ(釜山文化財団生活文化本部長)

イ・ジヘ（文化メディア実践研究所代表）

アデ・ダルマワン（「ルアンルプ」ディレクター）

ヘンリー・タン（テンタクル・アート・スペース）

山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター事務局長）

写真 3-2-4 フォーラムの様子

◆Drawing House（韓国・清州市）

清州市清原区（チョンジュ市チョンウォン区）にあるアートスペース「Drawing house」を訪問し、11 月に黄金町を来訪予定のアーティストたちとの交流を図った。また、都市再生をキーワードにアーティストと地域住民の共存や地域の課題解決への取り組みなどについて議論するセミナーに参加し、黄金町の事例紹介や清州の地域コミュニティの問題解決の糸口を探る地域とのアート活動について意見を交わした。また、Drawing House のディレクターやアーティスト黄金町を滞在し、活動紹介展示やトークイベントを開催した。

◆Asia Artists Village Project 2022 WORKSHOP by KOGANECHO

日 程｜令和 4 年 9 月 24 日(土)
会場｜清州市都市再生支援センター（韓国・清州）
登壇者｜
キム・ギヒョン（忠北芸術研究所代表）
キム・ヒョンシク（住民参加都市づくり研究所代表）
ミン・ギョンジュン（ムミアート代表）
ユ・ヨンソン（アーティスト）
イ・ギョンギ博士（忠北都市再生支援センター長）
イ・ジョンヒョン（653 Art Firm 代表）
チョ・ソンジュ（芸術実行共同体 Bees 副代表）
ファン・ヒヨン（忠北大都市工学科名誉教授）
山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター事務局長）

写真 3-2-5 セミナーの様子

◆Asia Artists Village Project 2022 展覧会

会 期｜令和 4 年 11 月 19 日(土)～21 日(月)

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

◆Asia Artists Village Project 2022 トークイベント

日 程｜令和 4 年 11 月 19 日

会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

写真 3-2-6 展覧会の様子

◆スペイン・バスク若手アーティスト交流プログラム

スペイン・バスクのビスカヤ県政府が 1983 年より毎年実施している、若手アーティストを対象としたアートアワード「ERTIBIL BIZKAIA」では日本でのレジデンス体験が副賞として贈られる。令和 2 年、令和 3 年は新型コロナウイルス感染症の影響によりレジデンスは見送られたが、本年度は遊工房アートスペース（東京）と PARADISE AIR（千葉）、黄金町エリアマネジメントセンターが受け入れ機関となり、黄金町では HELENA GOÑI と IÑIGO VARONA の 2 名を受け入れた。IÑIGO VARONA は黄金町で個展を行い、また各団体に受け入れられていたメンバーらと共に滞在期間終盤にアーツ千代田 3331 で成果展を行なった。

◆イニホ・ヴァロナ・サンチェス展覧会

THE ERA OF THE POLITICS

会 期｜令和 4 年 8 月 22 日(月)～8 月 28 日(日)

会場｜1 の 1 スタジオ E

写真 3-2-7 展覧会の様子

◆ドクメンタ報告会「MAKE FRIENDS NOT ART:屯してお喋りしましょう！」

レジデンス・アーティストでもある、フィリピン出身アーティスト、ラルフ・ルムブレスとネス・ロケが、5 年に 1 度ドイツのカッセル市で開催される現代アートの国際展ドクメンタ 15 にコレクティブとして参加した。二人がカッセル滞在中に得た様々な体験を、レジデンス・アーティストや国内外のアーティストと共有するための報告会を開催した。また登壇者には、ドクメンタ 15 を実際に鑑賞した黄金町とつながりがあるアーティストらも招いた。

◆MAKE FRIENDS NOT ART:屯してお喋りしましょう！
日 程｜令和 4 年 12 月 10 日(土)
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
登壇者｜
ネス・ロケ（アーティスト）
ラルフ・C・ランブレス（アーティスト）、
本間純（アーティスト）
瀧健太郎（アーティスト）
小川希（Art Center Ongoing ディレクター）

写真 3-2-8 報告会の様子

3-3. 黄金町国際 AIR プログラム 2022

「黄金町国際 AIR プログラム 2022」は、海外からの招聘アーティストが一定期間滞在し、調査・制作をはじめとし、参加アーティスト間の交流やさまざまなコミュニティの中での活動経験を経て、その成果を広く一般に公開するものである。プログラムの実施にあたっては、当団体設立当初より連携している東アジア・東南アジアの協力団体より、黄金町に滞在するアーティストの推薦を受けた。本年度は、A4 Art Museum（中国）、Space Ppong（韓国）、Zit-Dim Art Space ならびに Taipei Art Creator Trade Union（台湾）、Chiang Mai Art Conversation（タイ）、Load na Dito（フィリピン）に協力を賜り、そのうち東アジアの協力団体との連携においては、当団体からも·A4 Art Museum（中国）、Space Ppong（韓国）に対しアーティスト推薦を行い、双方向のアーティスト交換となるよう取り組んだ。中国を除く 4 都市のアーティストが、調査・作品制作のため黄金町に滞在した。そしてその成果展として「交流再来」展を開催した。

表 3-3-1　成果展「交流再来」展　開催概要

タイトル	黄金町国際AIRプログラム 2022 成果展「交流再来」
会期	令和 4 年 10 月 1 日(土)～10 月 16 日(日)【計 14 日間】
休場日	10 月 3 日(月)、11 日(火)【計 2 日間】＊月曜日、月曜祝日の場合は翌火曜日とした。
開催時間	11:00～19:00
展示会場	高架下スタジオSite-Aギャラリー、山本アパート、八番館
入場料	無料
主催	NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター
共催	横浜市
協力	A4 Art Museum、Space Ppong、Zit-Dim Art Space、Taipei Art CreaUnion、Chiang Mai Art Conversation、Lotor Trade ad na Dito
助成	令和4年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業
来場者数	延べ1,259名

◆参加アーティスト・作品詳細

●刘利斌（リウ・リビン）

Liu Libin

協力｜A4 Art Museum

リモートによる参加

写真 3-3-1

《誰かに打ち明ける》2021 年

●ミンジュン・チャン

Minjun Jeon

協力｜Space Ppong

黄金町滞在期間｜令和 4 年 8 月 4 日(木)～10 月 17 日(月)

写真 3-3-2

《エモーショナル・ワード》ほか、令和 4 年

●李杰恩（リ・ジェイエン）

Lee Jay En

協力｜Zit-Dim Art Space、Taipei Art CreaUnion

黄金町滞在期間｜令和 4 年 8 月 26 日(金)～10 月 20 日(木)

写真 3-3-3

《国家》ほか、令和 4 年

●アティコム・ムクダプラコーン&ポジャワン・パンジンダ

Atikom Mukdaprakorn & Potjawan Panjinda

協力｜Chiang Mai Art Conversation

黄金町滞在期間｜令和 4 年 7 月 20 日(水)～10 月 17 日(月)

写真 3-3-4

《メコン・ガーデン》ほか、令和 4 年

●ジェイゼル・クリスティーン

Jazel Kristin

協力｜Load na Dito

黄金町滞在期間｜令和 4 年 8 月 1 日(月)～10 月 17 日(月)

写真 3-3-5

《乗っとり》ほか、令和 4 年

◆関連企画

・平野真弓＋小川希 オンライントークイベント

フィリピンを拠点に活躍している平野真弓と、東京・吉祥寺にあるアートスペース Art Center Ongoing 代表の小川希によるオンライントークイベントを開催し、フィリピンを中心とした東南アジアの近年のアート動向や現在の現地での活動について話を伺った。

日時｜令和 4 年 8 月 28 日（日）13:30-14:30

登壇者｜平野真弓、小川希

※アーカイブを YouTube にて配信。

写真 3-3-6 トーク収録の様子

・関連企画　アーティストトーク

「交流再来」展会期中にアーティストトークを開催した。各会場を巡るツアー形式で、一作家につき通訳時間を含め 20 分程の時間のなかで、高架下スタジオ Site-A ギャラリー、山本アパート、八番館の順で各会場を回った。

日時｜令和 4 年 10 月 10 日（月・祝）14:00-16:00

集合場所｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

登壇者｜

ミンジュン・チャン

李杰恩（リ・ジェイエン）

アティコム・ムクダプラコーン&ポジャワン・パンジンダ

ジェイゼル・クリスティーン

写真 3-3-7 アーティストトークの様子

◆AIR マネージャー・インターンシップ

「AIR マネージャー・インターンシップ」は、黄金町エリアに滞在しながら、AIR 事業の手法について実践を通して学ぶ短期集中型のインターンシップである。令和 4 年度は「交流再来」展参加アーティストの招聘と同時期に研修期間を設け、アーティストの作品制作サポートや、地域コミュニティとの交流など黄金町 AIR ならではの参画を促した。例年通り公募を行い、令和 4 年度はフィリピンよりロベルト・ダニエル・C・デベラが参加した。日本滞在中、外部 AIR 組織を訪問する研修旅行として名古屋を訪れ、「みなとまちアートテーブルなごや」を視察し、現地の専門家と交流を行った。

[インターン]

ロベルト・ダニエル・C・デベラ

Roberto Daniel C. Devela

公募により選出

黄金町滞在期間｜令和 4 年 8 月 22 日(月)～10 月 21 日(金)

写真 3-3-8

名古屋の研修旅行の様子、令和 4 年

4. 夏休み子どもバザール

4. 夏休み子どもバザール

4-1. 全体概要

夏休み期間の子ども向けプログラムとして「夏休み子どもバザール」を実施した。NPO および東小学校放課後キッズクラブ、横浜市立大学鈴木研究室、地域住民、アーティスト等と実行委員会を結成し、幼児から中学生向けのプログラムを構成した。また、ステップ・スリーにインフォメーションを設置し日常的な運用を行なった。

実施期間｜令和 4 年 7 月 28 日(木)～8 月 28 日(日)
会　場｜ステップスリー（インフォメーション）、
　　高架下スタジオ Site-D 集会場、かいだん広場、
　　ハツネウイング A、アトリエ日ノ出町ほか
対　象｜幼児～小学生（一部中学生含む）
プログラム数｜8 企画
延べ参加人数｜137 名
主　催｜夏休み子どもバザール実行委員会、
　　東小学校放課後キッズクラブ、
　　黄金町エリアマネジメントセンター
協　力｜関東学院大学、横浜市立大学鈴木研究室、
　　アトリエ日ノ出町、子どもの育ちのためのアートらぼ

図 4-1-1 チラシ

4-2. 夏休み子どもバザール実行委員会

プログラムの企画・運営にあたって「夏休み子どもバザール実行委員会」を立ち上げた。東小学校放課後キッズクラブ、関東学院大学てるぬまゼミナール、横浜市立大学鈴木研究室、アトリエ日ノ出町、子どもの育ちのためのアートらぼ、黄金町エリアマネジメントセンターの関係者およびアーティスト、地域住民によって構成された。

4-3. インフォメーション（ステップ・スリー）

「夏休み子どもバザール」のインフォメーションをステップスリーに設置し、運営を美術家の竹本真紀に依頼した。日常的に開場し、地域住民やアーティスト、子どもたちから不要になった素材を預かり、プログラムで使用する材料として提供したり、所定のプログラムのない日でも子どもたちが工作できるワークショップを実施した。次第にプログラムに拘らず地域住民等が自由に立ち寄れる場所として定着し、「夏休み子どもバザール」以降も日常的に場所を開放することとなった。

◆インフォメーション日常プログラム「まちからあつめる」

竹本真紀がワークショップに使える材料やアイディアをあつめるプロジェクトとして実施。

日 程｜令和 4 年 7 月 28 日～8 月 28 日(日)

開場時間｜10:00～18:00（月曜休み）

対 象｜子どもから大人まで

来場者数｜延べ 317 名

写真 4-3-1 インフォメーションの様子

4-4. プログラム内容

学生やアーティストが各々でプログラムを考案し、計８つのプログラムを実施した。

◆わたしたちの黄金町図鑑

横浜市立大学鈴木研究室の学生が主体となりプログラムを企画した。東小学校の児童が主な参加者となり、黄金町の中で好きな場所や気になる場所を写真に撮影し、街の魅力をまとめた図鑑づくりを行った。

日 程｜令和 4 年 7 月 29 日(金)、8 月 15 日(月)、17 日(水)、19 日(金)、24 日(水)、25 日(木)、26 日(金)
時 間｜各日 14:00～16:00
会 場｜ステップ・スリー、ほか
対 象｜小学 1～6 年生
講 師｜鈴木伸治（横浜市立大学教授）＋鈴木研究室
延べ参加人数｜52 名

写真 4-4-1 講座の様子

写真 4-4-2 参加者の作品

◆まちのこアート

関東学院大学の照沼晃子教授とゼミ生によるワークショップを実施した。近隣で採取した草花などを素材に、幼児が自身の手で絵の具を作り、作品を仕上げた。

日 程｜令和 4 年 7 月 31 日(日)、8 月 14 日(日)、8 月 24 日(水)、8 月 27 日(土)
時 間｜各日 10:30～12:00
会 場｜ハツネウィング A
対 象｜幼児（年少～年長児）
講 師｜てるぬまゼミナール（関東学院大学学生）
　　てるぬま晃子（アーティスト、関東学院大学教授）
延べ参加人数｜13 名

写真 4-4-3 講座の様子

写真 4-4-4 参加者の作品

◆カラーテープアート

黄金町の高架下にあるスタジオのガラス窓に色のついた養生テープを貼り合わせ、花や生き物などさまざまな模様を描いた。

日 程｜令和 4 年 8 月 6 日(土)、8 月 7 日(日)、8 月 14 日(日)、8 月 20 日(土)、8 月 21 日(日)
時 間｜各日 午前の部 10:00～11:30、午後の部 14:00～15:30
場 所｜高架下スタジオ Site-D 集会場、黄金スタジオ
対 象｜幼児～小学生、保護者
講 師｜三ツ山一志（子どもの育ちのためのアートらぼ）
延べ参加人数｜32 名

写真 4-4-5 講座の様子

写真 4-4-6 参加者の作品

◆ガラクタアートに挑戦

工業部品や廃材などを組み合わせたオブジェを制作した。

日 程｜令和 4 年 7 月 28 日(木)、7 月 29 日(金)、8 月 4 日(木)、8 月 5 日(金)、8 月 18 日(木)、8 月 19 日(金)
時 間｜各日 10:00～12:00
会 場｜アトリエ日ノ出町
対 象｜小学 2～6 年生
講 師｜山田裕介（アーティスト ）
延べ参加人数｜23 名

写真 4-4-7 講座の様子

写真 4-4-8 参加者の作品

4. 夏休み子どもバザール

◆絨毯技法で「コガネムシ」バッジをつくろう！

絨毯を制作する技法を応用し、黄金町のどこかに住んでいるという設定で各々が自由にイメージした架空の虫を制作した。

日 程｜令和 4 年 8 月 20 日(土)、8 月 21 日(日)
時 間｜各回 10:00～12:00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
対 象｜小学 3～6 年生
講 師｜近あづき（ニッター、造形作家）
延べ参加人数｜3 名

写真 4-4-9 講座の様子

写真 4-4-10 参加者の作品

◆羊の毛でおやつマットを作ろう！

数色の羊の毛を組み合わせて、ランチョンマットを制作した。

日 程｜令和 4 年 7 月 30 日(土)
時 間｜14:00～16:00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
対 象｜小学 3～6 年生
講 師｜吉岡芙美（工作講師）
延べ参加人数｜5 名

写真 4-4-11 講座の様子

写真 4-4-12 参加者の作品

4. 夏休み子どもバザール

◆クツぞこはんが

履かなくなった靴の裏底を彫刻刀で彫り、版画作品を制作した。

日 程｜令和 4 年 8 月 6 日(土)
時 間｜10:00～12:00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
対 象｜小学 4～6 年生
講 師　金子未弥（アーティスト）
延べ参加人数｜1 名

写真 4-4-13 講座の様子

写真 4-4-14 参加者の作品

◆コマどりアニメ

スマートフォンを活用し、ぬいぐるみなどの身近なものを使ってコマ撮りショートアニメーションを制作した。

日 程｜令和 4 年 8 月 5 日(金)、8 月 14 日(日)
時 間｜各回 14:00～17:00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
対 象｜小学生～中学生
講 師｜吉本直紀（映像作家）
延べ参加人数｜8 名

写真 4-4-15、4-4-16 講座の様子

4. 夏休み子どもバザール

4-5.「夏休み子どもバザールてんらんかい」

夏休み子どもバザールの各プログラムで制作した作品を鑑賞できる展覧会を開催した。黄金町アートブックバザールおよびステップ・スリーで会場地図とワークシートが一体となった「てんらんかい MAP」を配布した。作品を鑑賞しつつ、街で感じたことや気がついたことを書き留めながらワークシートを完成させるとステップ・スリーで「おまけ」がもらえるような仕組みを用意し、街の回遊性を高めた。尚、「おまけ」は地域の商店の佐野屋本店からおもちゃを提供していただいた。

日 程｜令和 4 年 8 月 23 日(火)～8 月 28 日(日)

時 間｜10:00～18:00

インフォメーション｜ステップ・スリー、黄金町アートブックバザール

会 場｜ステップスリー、1 の 1、山本倉庫

協 力｜佐野屋本店

図 4-5-1 展覧会のチラシ

図 4-5-2 てんらんかい MAP（オモテ）

図 4-5-3 てんらんかい MAP（ウラ）

写真 4-5-4、4-5-5 展覧会の様子

5. 展覧会・イベント企画

5. 展覧会・イベント企画

5-1. 概要

本年度は毎年開催していた黄金町バザールの代わりに、高架下スタジオ Site-A ギャラリーを主な会場とする主催企画を定期的に開催し、年間を通じたイベントの実施に取り組んだ。

「Self Introduction－新しい黄金町のアーティストを紹介します－」展とレイモンド・ホラチェックによる個展「The Vicious Cycle of Virtue -美徳の悪循環-」、小川希（Art Center Ongoing 代表）キュレーションの「A Small, Good Thing －積み重ねることで生まれること－」展では、黄金町レジデンスアーティストの作品をさまざまな角度から紹介し、また前年度に行われた横浜草枕プロジェクトの可能性を示した「横浜草枕プロジェクトⅡ」展、ローカルコミュニティ同士の交流を復活させる試みとしての「Artist's Network FUKUOKA 2023」など、今後につながるシリーズを開始する１年となった。

5-2. 開催実績

◆「Self Introduction－新しい黄金町のアーティストを紹介します－」展

日 程｜令和 4 年 7 月 8 日(金)～7 月 31 日(日)　※休場日｜7 月 11 日(月)、19 日(火)、25 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

アーティスト｜チャロ・ズリタ、クラオシチャ、福井祐介、橋村至星、小林誠一、宮地祥平、
太田るなシャワ、瀧健太郎、てるぬまあきこ、楊珪宋

来場者｜延べ 383 名

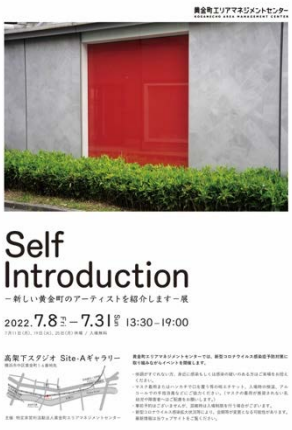


図 5-2-1 展覧会フライヤー

写真 5-2-2　展覧会の様子（撮影：笠木靖之）

◆「The Vicious Cycle of Virtue -美徳の悪循環-」展

日 程｜令和 4 年 10 月 28 日(金)～11 月 13 日(日)　※休場日｜10 月 31 日(月)、11 月 25 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

アーティスト｜レイモンド・ホラチェック

来場者｜延べ 365 名

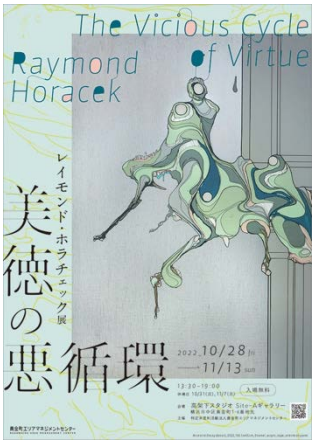


図 5-2-3 展覧会フライヤー

写真 5-2-4　展覧会の様子（撮影：林淳一朗）

◆関連イベント「キッズ・テープ・アートワークショップ」

日 程｜令和 4 年 11 月 5 日（土）

時 間｜13:30～16:00

会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

対象｜小学校 2 年生～中学 3 年生

参加者数｜14 名（保護者含む）

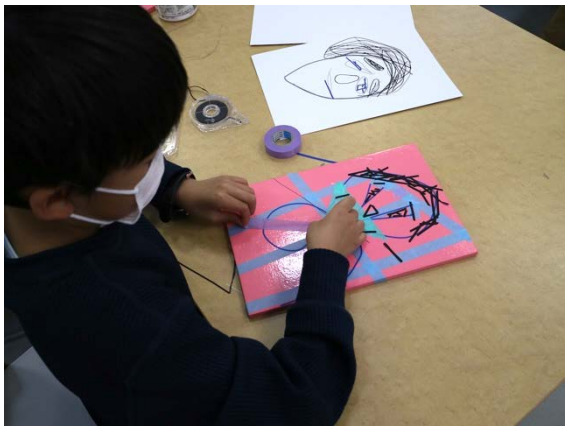


写真 5-2-5、5-2-6　ワークショップの様子

◆「A Small, Good Thing －積み重ねることで生まれること－」展

日 程｜令和 4 年 11 月 25 日(金)～12 月 11 日(日) ※休場日｜11 月 28 日(月)、12 月 5 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

アーティスト｜平山好哉、近あづき、Daisuke Terashima、SHINOBU SOEJIMA、SUZUKIMI、
キム・ガウン、神田茉莉乃

来場者｜延べ 314 名

図 5-2-7 展覧会フライヤー

写真 5-2-8 展覧会の様子（撮影：笠木靖之）

◆「横浜草枕プロジェクト II」展

日 程｜令和 4 年 12 月 16 日(金)～12 月 25 日(日) ※休場日｜12 月 19 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

アーティスト｜細淵太麻紀、葉栗翠、ツァイ・クエンリン、ピンリン・ホワン、ジョナガミ・ラボ、吉本直紀

来場者｜延べ 157 名

図 5-2-9 展覧会フライヤー

写真 5-2-10 展覧会の様子（撮影：笠木靖之）

◆「Artist's Network FUKUOKA 2023 [第一部] IAF の時代」展

日 程｜令和 5 年 2 月 10 日(金)～3 月 5 日(日)　※休場日｜2 月 13 日(月)、2 月 20 日(月)、2 月 27 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー、ハツネウイング A

アーティスト｜オーギカナエ、草野貴世、和田千秋、牛嶋均、坂﨑隆一

来場者｜延べ 339 名

図 5-2-11 展覧会フライヤー

写真 5-2-12　展覧会の様子（撮影：笠木靖之）

◆「Artist's Network FUKUOKA 2023 [第二部] ニュー・ニューウェーブ・フクオカ」展

日 程｜令和 5 年 3 月 10 日(金)～3 月 26 日(日)　※休場日｜3 月 13 日(月)、3 月 20 日(月)

時 間｜13:30～19:00

会 場｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー、八番館

アーティスト｜しまうちみか、千原真実、近藤拓丸、石原雅也、遠藤梨夏、牧園憲二、手塚夏子

キュレーター｜小川希（Art Center Ongoing 代表）

協力｜齋藤一樹、生島国宣

来場者｜延べ 564 名

図 5-2-13 展覧会フライヤー

写真 5-2-14　展覧会の様子（撮影：笠木靖之）

◆安部泰輔ワークショップ（Artist's Network FUKUOKA 2023 特別プログラム）

日 程｜令和 5 年 2 月 10 日(金)～3 月 26 日(日)

時 間｜10:00～19:00

会 場｜ステップ・スリー

アーティスト｜安部泰輔

参加者｜延べ 159 名

※休場日｜月曜

（撮影：笠木靖之）

写真 5-2-15、5-2-16　ワークショップの様子

6. made in Koganecho

6. made in Koganecho

6-1. 概要

平成 29 年度よりスタートした「made in Koganecho」は、黄金町のアーティストの成果物を黄金町産というブランドとして発信し、展示等を通して販売へとつなげていくプロジェクトである。日ノ出スタジオにてショップとギャラリーを運営している。また直営店舗の他、オンラインショップでも作品やグッズの販売を行っている。その他、管理施設を活用したウィンドウ・ギャラリー・プロジェクトを実施した。

6-2. 黄金町アートブックバザール

美術関係の古書のほかアーティストのグッズや書籍を取り扱うショップを運営している。レジデンス･アーティストだけでなく、かつて AIR に参加していた黄金町にゆかりのあるアーティストのグッズや作品集、ZINE なども取り扱っている。また店内に動物のお面を作れる工作コーナーを設けており、子ども連れの家族や小学生が日常的に立ち寄れる空間となっている。

写真 6-2-1　ショップの様子

6-3. gallery made in Koganecho

黄金町に滞在するアーティストの作品を中心に、平面作品、立体作品の展示・販売を行なった。前年度に引き続きギャラリー専門スタッフを配置し、定期的に作品を入れ替えながら週 5 回または 6 回オープンすることで、まちを行き交う人々へ黄金町の活動をアピールする場にもなった。

本年度より海外アーティスの受け入れ再開もあり、取り扱い作品が拡充した。また、アーティストと顧客とを密に繋ぐオーダー作品の取引にも取り組んだ。その他、これまでバックヤードであった空間を展示スペースとして拡張し、作品展示の充実を図った。

図 6-3-1　ギャラリーの様子

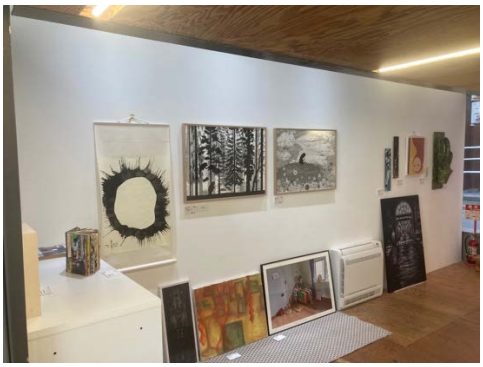


図 6-3-2　ギャラリーの様子

◆取り扱いアーティスト

片桐三佳、安田拓郎、金子未弥、竹本真紀、常木理早、大野光一、楊珪宋、レイモンド・ ホラチェック、さとうりさ、神田茉莉乃、寺島大介、遠山裕崇、安部泰輔、肥沼守、カルビン・バーチフィール、 ローランス・ベンツ、三ツ山一志、ごとうなみ、村田真、studio wo、メリノ、キム・ガウン、岡田光生、 葉栗翠、SUZUKIMI、秋山直子、ユ・ソンジュン、千々和佑樹、安里槙、山本貴美子、さかもとゆり、近あづき、宮内由梨、木下直人、副島しのぶ、さんにん工房、瀬戸口朗子、阿部道子、平山好哉、柴田まお、細淵太麻紀、オーウェン・ラオ、福井祐介、橋村至星、小林誠一、太田るなシャワ、阿部智子、アリアーヌ・メルシエ＝ボー、吉本直紀

※クラオシチャ、チャロ・ズリタ（展示のみ）

6-4．オンラインショップの運営

前年度に引き続き、店舗と並行してオンラインにて作品とグッズの販売を行った。また、作品とは別に古書販売用のオンライショップも運営した。

◆オンラインショップ URL

https://koganecho.thebase.in/

https://bookbazaar.thebase.in/

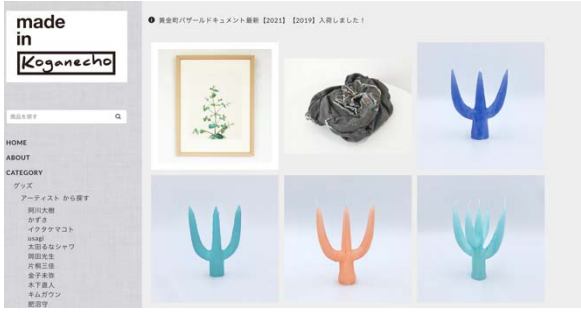


図 6-4-1　作品＿グッズ販売用のオンラインショップ

6-5．SNS の運用

ショップでは令和 2 年より店舗の情報発信ツールとして Twitter アカウントを運用している。本年度は新たにギャラリーの Instagram アカウントを立ち上げ、SNS を通して作品、作家活動を紹介した。SNS はオンラインショップへの新たな導入ともなっている。

表 6-5-1 SNS アカウント

店舗名	アカウント名	フォロワー数
黄金町アートブックバザール	@k_artbookbazaar	998 件
gallery made in Koganecho	@madeinkoganecho	228 件

図 6-5-2　ショップの Twitter

図 6-5-3　ギャラリーの Instagram

6-6．ウインドウ・ギャラリー・プロジェクト

アーティストが入居するスタジオや事務局が管理するスタジオの窓に、小さな展示空間「ウィンドウ・ギャラリー」を設置し、作品展示を行った。通りがかる人々がアート作品を眺めることができ、このまちにどのようなアーティストがいるのか、どのような作品が作られているのかを紹介することができた。

図 6-6-1　ナイージャ・ナイン展示風景

図 6-6-2　太田るなシャワ展示風景

7. のきさきアートフェア

7. のきさきアートフェア

7-1. 概要

地域の賑わいおよび黄金町レジデンスアーティストと地域との接点づくりを目的に、アーティストやクリエイターの作品やグッズを販売する「のきさきアートフェア」を開催している。本年度は新型コロナウィルス感染症の影響が強かった 4 月は黄金町アートブックバザールにて「のきさきアートフェア at 黄金町アートブックバザール」として店内での小規模イベントを実施した。秋以降は初黄日商店会と連携し、「はつこひ市場」との同日開催で、3 年ぶりとなるアーティストやクリエイターの出店を行なった。

7-2. 開催実績

4 月の「のきさきアートフェア at 黄金町アートブックバザール」ではワークショップのほか、アーティストのパフォーマンス、落語公演を行なった。「はつこひ市場」との同日開催は 9 月、11 月、3 月に、それぞれ屋外でのイベントを行なった。アーティストやクリエイターの出店のほか、子ども向けのワークショップも実施した。3 年ぶりの開催で内外ともに期待が高まったイベントであったが、各日程とも台風や強雨と重なってしまい、集客に苦戦する結果となった。

◆のきさきアートフェア at 黄金町アートブックバザール

日 程｜令和 4 年 4 月 1 日(金)～3 日(日)

会 場｜黄金町アートブックバザール

内 容｜カラーテープデコレーション（ワークショップ）

碗琴道パフォーマンス（出演｜安部寿紗）

ネオラクゴ・エルドラド～月亭太遊落語会（出演｜月亭太遊）

参加者数｜

カラーテープ・デコレーション 延べ 15 名（4 月 1 日～4 月 2 日）

碗琴道パフォーマンス　24 名（4 月 2 日）

落語公演 延べ 41 名（4 月 3 日、計 2 回公演）

図 7-2-1　フライヤー

写真 7-2-2　カラーテープ・デコレーションの様子

写真 7-2-3　落語公演の様子

7. のきさきアートフェア

◆のきさきアートフェア

日　時｜令和 4 年 9 月 18 日（日）11:00～15:00

会　場｜黄金町高架下広場（ロックカク）

出店者数｜8 組（外部出店者 5 組／レジデンスアーティスト 3 組）

ワークショップ｜

手にやさしい土からの Art な泥だんごづくり（講師｜照沼晃子）

デコデコ缶バッジを作ろう！（講師｜アトリエ日ノ出町）

来場者数総計｜177 名

図 7-2-4　フライヤー

写真 7-2-5　会場の様子

写真 7-2-6　出店者の様子

◆のきさきアートフェア

日　時｜令和 4 年 11 月 13 日（日）11:00～15:00

会　場｜黄金町高架下広場（ロックカク）

出店者数｜7 組（外部出店者 6 組／レジデンスアーティスト 1 組）

ワークショップ｜

靴下の端材でつくるプラントハンガーづくり（講師｜近あづき）

こどもが輝くアートな紙袋と宝もの（講師｜照沼晃子）

デコデコ缶バッジを作ろう！（講師｜アトリエ日ノ出町）

来場者数総計｜546 名

図 7-2-7　フライヤー

写真 7-2-8　会場の様子

写真 7-2-9　ワークショップの様子

7. のきさきアートフェア

◆のきさきアートフェア

日　時｜令和 5 年 3 月 26 日（日）11:00～15:00

会　場｜黄金町高架下広場（ロックカク）

出店者数｜11 組（外部出店者 6 組／レジデンスアーティスト 5 組）

ワークショップ｜

黄金町バザールサポーター企画お抹茶ワークショップ

こども向けワークショップ（照沼晃子）

その他関連イベント｜特別ライブ（出演 Kyly）

来場者数総計｜252 名

図 7-2-10　フライヤー

写真 7-2-11　会場の様子（撮影：林淳一朗）

写真 7-2-12　特別ライブの様子（撮影：林淳一朗）

8. 黄金町芸術学校

8. 黄金町芸術学校

8-1. 黄金町芸術学校

黄金町芸術学校はアーティストが講 師となって様々な分野の作品づくりの技術やアイディアを伝える講座シリーズである。本年度は、黄金町レジデンスアーティストが講 師となって、実技講座 3 講座、座学講座 1 講座を開講した。また、年度末に受講者を対象としたアンケートを実施した。内容に興味があっての参加が多く、いずれの講座も満足度の高いものとなった。

表 8-1-1　前年度との比較

年　度	講座開催回数	延べ参加人数
令和 3 年度	73 回	249 人
令和 4 年度	73 回	272 人

◆ふらっと一日陶芸体験

「手びねり」の技法を一日で体験する初心者向けの講座を実施した。
日 程｜毎月 1 回
時 間｜13：30～15：00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
講 師｜さかもとゆり（美術家）
実施回数｜12 回
延べ参加人数｜81 人

写真 8-1-1 陶芸体験の様子

◆あみもの講座

棒針・かぎ針・機械編みなど好きな編み方を学べる講座を実施した。
日 時｜予約制（1～3 時間）
会 場｜黄金スタジオ
講 師｜近あづき（造形作家・ニッター）
実施回数｜34 回
延べ参加人数｜34 人

◆あみもの講座（編機体験）

編機を利用して 3 時間でスヌードやマフラーを編む機械編み入門講座を実施した。
日 時｜予約制（3 時間）
会 場｜黄金スタジオ
講 師｜近あづき（造形作家・ニッター）
実施回数｜15 回
延べ参加人数｜16 人

◆美術の話

美術ジャーナリスト・画家である講 師が、毎回テーマを決めて座学講座を実施した。
日 時｜毎月第 4 火曜日　19:00～21:00
会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場
講 師｜村田真（美術ジャーナリスト・画家）
実施回数｜12 回
延べ参加人数｜141 人

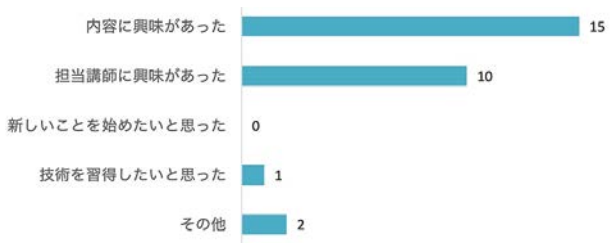
写真 8-1-2 座学の様子

8-2. アンケート調査

受講生を対象に、アンケート調査を実施した。

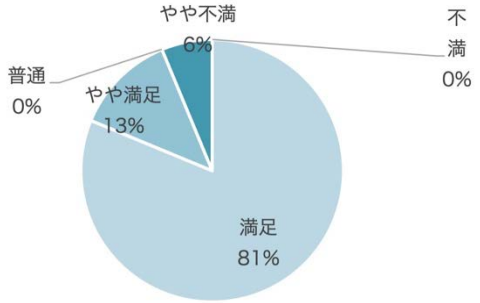
回答数｜22 人

【質問１】受講したきっかけについて

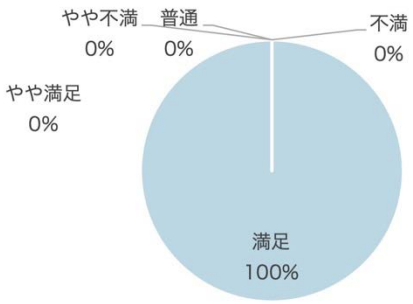


その他｜以前陶芸をしてましたが、暫くお休みしていて、久しぶりに何か作りたくなったから。

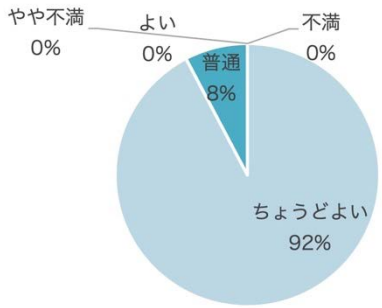
【質問 2】内容について



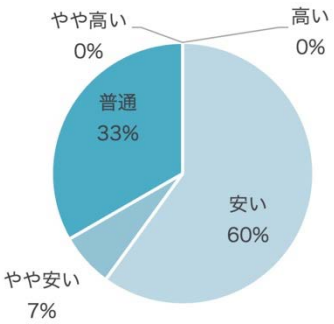
【質問 3】講師の教え方について



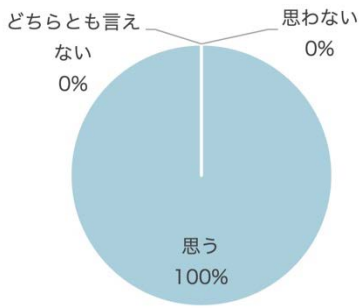
【質問 4】受講時間について



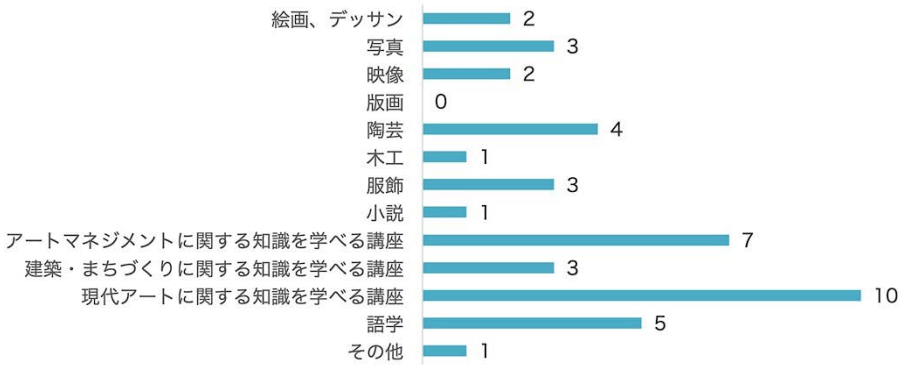
【質問 5】受講料について



【質問 6】今後も黄金町芸術学校に参加したいか



【質問７】受講してみたい講座



その他｜

・色鉛筆で花の風景をかく WS.デッサン鉛筆画、木炭画、希望します。

・英語で料理とか食文化の話

・読書会

・アートと経済学

・アートと哲学

・日本語でレビューを書く

【感想・意見】

・はじめての陶芸でしたが楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。
・陶芸体験絵付けと釉薬かけまでやりたいな、あとろくろ体験！
・また行きたいと思っていますのでよろしくお願いします
・先生の話が素人にもわかりやすくて面白いので、先生の話をしっかりと聞きたく参加しています。
・今年度も大変有意義な講座を開設していただきありがとうございました。勉強になっただけでなく、毎回アフター講座で皆さんと一緒に食事をし会話できたことなども含めとても楽しく参加する事ができました。今後も参加したいので講座は是非継続していただきたいです。
・先生の教え方はすごく優しくて、よかったです。のびのびできました。一日コースで削る作業もできるともっと楽しいです。

8-3. 特別プログラム（ひよこの会の陶芸体験）

視覚障害を持つ幼児・児童とその保護者の支援会「ひよこの会」を対象に、一日陶芸体験を実施した。

日 時｜令和４年７月３日(土)　10:30～12:00／15:30～17:00

会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

講 師｜さかもとゆり（美術家）

延べ参加人数｜24 人

写真 8-3　陶芸体験（ひよこの会）の様子

9. 黄金町バザールサポーター

9. 黄金町バザールサポーター

9-1. 概要

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、活動の参加募集を行った。活動内容を「アーティストサポート」「事務局サポート」「グループ活動」の 3 つに分けてそれぞれ活動を行った。

9-2. サポーター登録

NPO ウェブサイトにてサポーター登録を受け付けた。

バザールサポーター登録者数	356 名（令和 5 年 3 月末時点）　前年度比＋7 人

9-3. アーティストサポート

アーティストに対するサポート活動としてワークショップのサポートを呼びかけた。

◆クリスマスのための大きなアート作品をつくろう

横浜市内の商業施設ショーウィンドウに飾る、アーティストによるクリスマスアート作品の制作をサポートした。

日　程｜令和 4 年 11 月 19 日(土)～11 月 27 日(日)　13:00～17:00
※月曜休み

場　所｜黄金町ステップ・スリー(横浜市中区日ノ出町 2-158)

アーティスト｜SUZUKIMI、竹本真紀

※サポーター以外にも地域住民の方も参加

写真 9-3-1 制作サポーの様子

◆安部泰輔ワークショップの制作サポート

「Artist's Network FUKUOKA 2023」関連プログラムである安部泰輔によるワークショップの運営および作品制作をサポートした。

日　程｜令和 5 年 3 月 4 日(土)、3 月 10 日(金)、3 月 11 日(土)、3 月 12 日(日)、3 月 18 日(土)、3 月 19 日(日)

場　所｜ステップ・スリー

延べ活動人数｜6 名

9-4. 事務局サポート

事務局に対するサポート活動「事務局サポート」として事務作業のサポートや黄金町バザール 2021 に関わるサポートを募集した。

◆かいだん広場メンテナンス大会

サポーター、地域住民、アーティスト、大学生らと共同でかいだん広場の清掃と塗装を行った。

日　時｜令和 4 年 4 月 16 日(土)、4 月 23 日(土)10:00～12:00

場　所｜かいだん広場

延べ活動人数｜39 名（内、サポーター6 名）

写真 9-4-1 の様子

◆のきさきアートフェア受付サポート

のきさきアートフェアの受付で事務局のサポートを行った。

日　時｜令和 4 年 9 月 18 日(日)11:00～15:00

場　所｜黄金町高架下広場（ロックカク）

活動人数｜2 名

9-5．グループ活動

黄金町バザールサポーターのグループ活動として、黄金町の魅力を発信する活動として「まち歩き班」と「広報班」が活動している。まち歩き班はイベントに合わせてまちの魅力や歴史を案内しながら初黄・日ノ出町地区をめぐるまち歩きツアーを行っていたが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で活動を控えていた。本年度開催した「Artist's Network FUKUOKA[第 1 部]-IAF の時代-」で、事務局からの提案により街歩き班の茶道に心得のあるサポーターを中心に茶会を実施した。また、広報班は黄金町のアート作品紹介や黄金町にゆかりのあるアーティストの展覧会レビュー、近隣のカフェ紹介等の記事を執筆し、Facebook ページ「バザールサポーターズノート」に随時掲載した。

◆Artist's Network FUKUOKA[第 1 部]のお茶会

「Artist's Network FUKUOKA[第 1 部]-IAF の時代-」参加作家、オーギカナエのプロジェクト「モバイルスマイル茶会」の一環として、展示作品の茶道具を実際に使いアーティストや事務局スタッフに振る舞う茶会を実施した。

日　時｜令和 5 年 2 月 23 日(木・祝) 10:00～12:00

場　所｜高架下スタジオ Site-A ギャラリー

活動人数｜8 名

参加者｜7 名

写真 9-5-1 の様子

◆のきさきアートフェアでのワークショップ

のきさきアートフェアで、参加者自身が抹茶を立てるワークショップを実施した。

日　時｜令和 5 年 3 月 26 日(日)　11:00～15:00

場　所｜黄金町高架下広場（ロックカク）

活動人数｜7 名

参加者数｜23 名

写真 9-5-2 の様子

◆サポーターズノート

フォロワー数｜612 名（Facebook）、248 名（Instagram）

更新回数｜20 回

利用システム｜Facebook、Instagram

活動人数｜2 名

図 9-5-3 バザールサポーターズノートの記事（Facebook）

10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営

10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営

10-1. 運営概要

◆ 総会の開催

・令和 4 年度地域再生まちづくり貢献者表彰 受彰者：谷口安利氏

・令和 4 年度まちづくり功労者表彰 受彰者：該当者なし

令和 3 年度事業報告・決算報告、令和 4 年度事業計画・予算について決議を行い、承認された。

日 時｜令和 4 年 5 月 26 日（木）9:00～10:00

会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

参加人数｜16 名（うち委任状 4 名）

◆ 役員会・定例会の開催

協議会の活動方針について役員が検討を行う「役員会」、協議会参加団体の活動報告及び議論の場として誰でも参加できる「定例会」をそれぞれ開催した。令和 4 年 6 月からは、偶数月に役員会、奇数月に定例会を開催することとした。

日 時｜役員会・定例会 10:00～12:00（開催月については下記表参照）

会 場｜高架下スタジオ Site-D 集会場

参加人数｜役員会 124 名、定例会 156 名／年間

表 10-1-1 役員会・定例会 開催日、参加人数一覧

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
役員会	開催日	21	19	23	-	18	-	20	-	15	-	16	-
	参加人数	18	18	22	-	17	-	17	-	17	-	15	-
定例会	開催日	28	総会	-	28	-	22	-	24	-	26	-	23
	参加人数	34	-		23	-	27	-	25	-	23	-	24

10-2 各部会の活動について

◆ まちづくり推進部会

協議会活動の統括及び「まちづくり」に関する活動を実施した。

①部会の開催

まちのルールづくりに関する議題を中心に、部会を開催した。

【部会開催回数】12 回

10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営

表 10-2-1 まちづくり推進部会 部会開日催一覧

開催日	回	内容
4 月 15 日	第 1 回	第 3 回アンケート回収状況について、らいむらいとについて、まちづくり協議について
5 月 20 日	第 2 回	第 3 回アンケート回収状況について
6 月 17 日	第 3 回	第 3 回アンケート回収率をあげる対策について、今後のスケジュールについて
7 月 15 日	第 4 回	第 3 回アンケート回収状況と集計結果について、今後の進め方について、らいむらいと跡地について
8 月 19 日	第 5 回	第 3 回アンケート集計結果、まちづくりニュース原稿案、今後の進め方について、お祭り広場について
9 月 16 日	第 6 回	はつこひ市場での PR について、第 4 回アンケートについて
10 月 21 日	第 7 回	第 4 回アンケートのスケジュールと内容について はつこひ市場での PR について
11 月 11 日	第 8 回	アンケートの発送作業、説明会の開催、はつこひ市場での PR、おまつり広場について,
12 月 16 日	第 9 回	アンケートの回収状況について
1 月 20 日	第 10 回	アンケート回収状況とマンション対応について
2 月 17 日	第 11 回	アンケートの改修状況ととりまとめスケジュールについて アンケートの再送について
3 月 17 日	第 12 回	アンケートの回収状況と次年度以降の進め方について

②まちのルールづくりについて

当地区にふさわしい建物の用途や形態に関するルールを整備する為、平成 29 年度から「地区計画」と「地域まちづくりルール」の制定を目指し活動を実施してきたが、令和 3 年度からは対象地区を絞って地区計画の制定を目指した活動に切り替えている。今年度は、令和 3 年度に実施した第 3 回「＜地区計画＞に関するアンケート」（以下第 3 回アンケート）の集計結果を黄金町まちづくりニュース vol.134 にて報告し（10 ページ参照）、第 4 回「＜地区計画＞に関するアンケート」（以下第 4 回アンケート）を実施、回収作業を進めている。

また昨年度と同様、アンケートや地区計画の概要を説明するオンライン説明会を開催した。

〇第 4 回アンケート 概要

期 間｜令和 4 年 11 月 12 日～令和 5 年 4 月 20 日

※現在も回収作業を実施中

内 容｜地区計画の内容案の可否について（地区計画の方針案、建築物の用途の制限案など）

対象者｜該当エリアの地権者

形式｜記名式アンケート

回収実績｜※令和 5 年 3 月 17 日現在

アンケート対象 335 件中、回答 56 件、未回答 198 件、未送付 81 件（海外 6 件、国内の宛先不明 75 件）

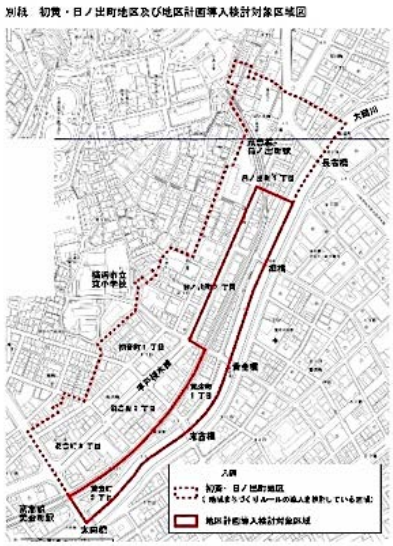


図 10-2-1 第 4 回アンケート対象エリア

〇オンライン説明会概要
日 時｜令和 4 年 11 月 23 日(水・祝) 10:00～12:00
内 容｜
・ルールづくりの必要性、地区計画の制度のしくみ、
当地区の地区計画案の内容について
桜井悦子氏（有限会社悦計画室）
・質疑応答
参加者｜14 名

写真 10-2-1 説明会当日の様子

③「街づくり協議指針」に基づいた活動

街づくり協議の実施 当地区の建築行為に対して「初黄・日ノ出町地区街づくり協議指針」に基づき下記の通り、協議を行った。

表 10-2-2 まちづくり協議指針 協議実施一覧

協議月	協議物件用途	地区	結果	備考
令和 4 年 7 月	貸店舗	日ノ出町	承認	書面確認にて承認
令和 4 年 8 月	戸建て住宅	初音町	承認	書面確認にて承認
令和 5 年 1 月	戸建て住宅	初音町	承認	書面確認にて承認

◆ 浄化推進部会

「防犯」「防災」「湧水」「施設環境」に関する活動を実施した。

部管内で担当を決め、担当者は各担当の責任者となり、各担当者が主体となって実行し、担当者以外がサポートを行う方向で活動した。

①部会の開催

【部会開催回数】 10 回

表 10-2-3 浄化推進部会 部会開催日一覧

開催日	回	内容
4 月 7 日	第 1 回	21 年度の総括、22 年度の活動案について
6 月 9 日	第 2 回	協議会の問題点や運営資金、活動確認を行った
7 月 14 日	第 3 回	水防訓練、炊き出し、美化活動、打ち水、はつこひトークについて
8 月 10 日	第 4 回	日ノ出湧水、落書き対策、水防訓練、花壇、はつこひトークについて
9 月 8 日	第 5 回	炊き出し訓練、はつこひトーク、消防署連携、花壇、落書きについて
10 月 13 日	第 6 回	炊き出し訓練、10 月パトロールでの危険個所確認について
11 月 10 日	第 7 回	日ノ出湧水、炊き出し訓練の反省、20 周年記念事業について
1 月 19 日	第 8 回	炊き出し訓練報告について、今後の活動について
2 月 9 日	第 9 回	花壇の取り外しと植栽 n お選定。
3 月 9 日	第 10 回	花壇について、今後の活動について

②防犯パトロールの開催

地域住民、東小学校、東小学校 PTA、神奈川県警、伊勢佐木警察署、横浜市、アーティスト等と共に地域をパトロールしながらゴミ拾いを行う「防犯パトロール」を開催した。

日 時｜毎月27 日（12 月は 17 日開催）、15:00～16:00

場 所｜黄金町交番集合、初黄・日ノ出町地区をパトロールしかいだん広場で解散

開催回数｜12 回開催（担当者が欠席時はメンバーでサポートした。）

※１０月の防犯パトロールは、防災の観点から、中区の防災担当者を呼び、地域 MAP を持ち危険箇所が無いか、山側と川側の２部隊に分かれパトロールを行った。

参加者｜延べ 353 名

表 10-2-4 防犯パトロール 参加人数一覧

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
参加人数	29	30	23	18	35	33	32	29	30	28	31	35

写真 10-2-5,10-2-6　防犯パトロール、清掃活動の様子

③日ノ出湧水の取り扱い

歴史的価値が有る湧水でも有り、保全検討を行う。中区、中戸木、協定内容の見直しも現行通りで、今後中土木が埋設配管を再調査する。

④「避難訓練＋防災炊き出し大作戦」の実施

震災時を想定した炊き出し訓練を実施した。また、石川町町内会と連携した物資の運送訓練に、元町自治運営会、長者町 7･8･9 丁目町内会も参加頂き、伊勢佐木消防団第 1 分団によるスタンディング消火器の訓練、E ボート倶楽部による避難救出訓練等も合わせて行なった。

日 時｜令和４年 11月20日（日）10:00～12:00

会 場｜横浜日ノ出桟橋前

内 容｜炊き出し訓練、桟橋を利用した運搬訓練（石川町打越町内会と連携）スタンディング消化器の使用訓練（伊勢佐木消防団第 1 分団）、E ボート乗船清掃訓練（E ボート倶楽部、SUP 倶楽部）

写真 10-2-7,10-2-8　訓練の様子

⑤「河川脇の花壇改造」の実施

数年前から手付かずで一部を除いて、ランタナも枯れてしまい放置状態の河川脇の花壇。通行人からは、これは防災の何かですか？なんのモニメントですか？と聞かれる状態。花に水をやる際も、花壇が高すぎて散水出来ないので、一部の場所を実験的に低くして植栽を見やすい位置に置くことを計画した。

⇒

写真 10-2-9,10-2-10　花壇の改良

⑥テント型看板の撤去

【撤去件数】1 件（令和 5 年 3 月）

写真 10-2-11　撤去の様子

10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営

◆ 広報イベント部会

協議会の「広報」「啓発」活動を実施した。

①部会の開催

毎月第 2 火曜日を基本に部会を開催し、まちづくりニュースの発行や打ち水イベントなどについて協議した。

【部会開催回数】14 回

表 10-2-12 広報イベント部会 部会開催一覧

開催日	回	内容
4 月 19 日	第 1 回	今年度の活動について、協議会ウェブサイトについて
5 月 17 日	第 2 回	次号のまちづくりニュースについて、協議会ウェブサイトについて
6 月 14 日	第 3 回	まちづくりニュース発行計画と構成について、打ち水イベントについて
7 月 12 日	第 4 回	まちづくりニュース 9 月号の内容について、 打ち水イベントについて
8 月 9 日	第 5 回	打ち水イベントについて、 9 月号の内容について、はつこひ市場での PR について
9 月 13 日	第 6 回	まちづくりニュース 9 月号の配布について、12 月号の内容について
10 月 4 日	第 7 回	まちづくりニュース 12 月号について
10 月 18 日	第 8 回	まちづくりニュース 12 月号（古老に聞く）について
10 月 25 日	第 9 回	
11 月 1 日	第 10 回	
12 月 6 日	第 11 回	まちづくりニュース 12 月号の配布、3 月号について
1 月 10 日	第 12 回	まちづくりニュース 3 月号について
2 月 7 日	第 13 回	令和 5 年度発行計画について、20 周年記念事業について
3 月 7 日	第 14 回	まちづくりニュース 3 月号配布、令和 5 年度発行計画、 6 月号について

②黄金町まちづくりニュースの編集・発行

地域情報の発信を目的に「黄金町まちづくりニュース」（以下まちづくりニュース）を発行、配布した。

【仕様】A3二つ折り

【部数】年間3回 10,500部 （配布地域｜日ノ出町、初音町、黄金町、赤門町、英町を中心に配布）

表 10-2-13 まちづくりニュース 発行一覧

号	発行年	発行月	主な内容	部数
134	R4	9 月	打ち水イベント報告 第 3 回アンケート（3 ページ参照）の集計結果報告 黄金町のアーティスト紹介（金子未弥） 9 月～11 月のイベントや地域のニュース	3,500
135	R4	12 月	日ノ出町お祭り広場オープン、はつこひ市場報告 古老に聞く vol.1 交流再来展レポート 12 月～ 2 月のイベントや地域のニュース	3,500
136	R5	3 月	防災炊き出し訓練報告 古老に聞く vol.2 A Small, GoodThing 展レポート 3 月～5 月のイベントや地域のニュース	3,500

10. 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会事務局運営

図 10-2-14 まちづくりニュース vol.134

図 10-2-15 まちづくりニュース vol.135

図 10-2-16 まちづくりニュース vol.136

③WEB メディアの運営

広報メディアとしてホームページを運営している。ホームページの構造が古くなったため、4 年度にリニューアルを実施した。

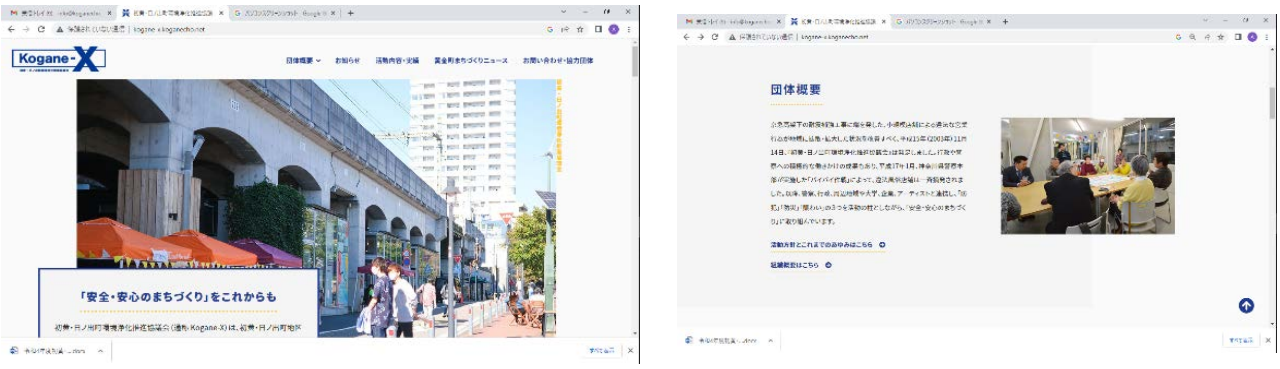


図 10-2-17　ホームページ

④打ち水イベントについて

横浜市の温暖化対策の一貫として平成 17 年より実施している打ち水イベントを、今年度は、夏休みこどもバザールと連携させ、横浜市大鈴木ゼミ生と一緒に開催した。東小学校放課後キッズクラブとゼミ生の協同制作のチラシを、部会で印刷し、掲示と配布をした。当日は浄化推進部会の協力も得た。

写真 10-2-18　イベント当日の様子

◆ **地域商業推進部会**

「賑わい」に関する活動を実施した。

① 部会の開催

商店会と連携して、商業的な賑わいづくりを主な議題として部会を開催した。

【部会開催回数】5 回

表 10-2-19 地域商業推進部会 部会開催一覧

開催日	回	内容
6 月 6 日	第 1 回	今年度の活性化事業について
7 月 27 日	第 2 回	はつこひ市場の開催について、はつこひさんぽの発行について
8 月 29 日	第 3 回	はつこひ市場の開催について、はつこひさんぽの発行について
10 月 31 日	第 4 回	はつこひさんぽ完成報告、9 月はつこひ市場開催報告、11 月のはつこひ市場実施について、FOOD ART STATION への協力について
1 月 11 日	第 5 回	※ 中止のため、3 月実施のはつこひ市場についてメールにて報告

② 商店会と連携した地域経済活性化イベントの開催

・「はつこひ市場」の開催支援

日 程｜令和４年 9月18日(日)　11:00～15:00
場 所｜高架下スタジオ Site-D 集会場・かいだん広場・黄金町高架下広場（ロックカク）
来場者数｜Site-D：311 人　かいだん広場：264 人　ロックカク：177 人
参加店舗数｜27 店舗

写真 10-2-20,10-2-21　当日の様子

日 程｜令和４年 11月13日(日)　11:00～15:00
場 所｜高架下スタジオ Site-D 集会場・かいだん広場・大岡川桜桟橋川沿いエリア・
　　黄金町高架下広場（ロックカク）
来場者数｜Site-D：330 人　かいだん広場：686 人　ロックカク：546 人　桜桟橋前：665 人
参加店舗数｜28 店舗

写真 10-2-22,10-2-23　当日の様子

日 程｜　令和５年 3月26日(日)　11:00～15:00
場 所｜高架下スタジオ Site-D 集会場・かいだん広場・黄金町高架下広場（ロックカク）
来場者数｜Site-D：245 人　かいだん広場：185 人　ロックカク：252 人
参加店舗数｜25 店舗

写真 10-2-24,10-2-25　当日の様子

11. 地域支援活動

11. 地域支援活動

11-1. ステップ・スリーの開設

夏休み子どもバザールのインフォメーション運営を契機に、かつて黄金町エリアマネジメントセンターの事務所として活用していた「地域防犯拠点ステップ・スリー」を日常的に地域に開かれた場所として令和 4 年 9 月より運用を開始した。運営を委託した美術家の竹本真紀が常駐し、地域住民やアーティストが気軽に立ち寄り雑談や相談をしたり、横浜市立大学鈴木研究室の学生らが打ち合わせ等の拠点としたり、アーティストが作品制作に向けたワークショップを開催するなど様々な活動を通して地域に開かれる場となった。

◆素材収集

地域住民やアーティストが不要になった絵具やキャンバス等の道具類や素材をステップ・スリーに提供し、それを別のアーティストが引き取って活用できるようにした。

写真 11-2-1 素材置き場の様子

◆地域支援

・広報イベント部会の打ち合わせ場所の提供

・12 月 24 日に路上生活者に靴下をプレゼントする企画の集積所および仕分け

・年末年始の生活困窮者のための相談場所 MAP 掲示

◆アーティスト活動支援

レジデンス・アーティストによる作品制作やイベントのためのワークショップや報告会などをステップ・スリーで実施した。また、「関内外 OPEN！」のプログラムとして実施した黄金町 AIR アーティストのオープンスタジオツアーの案内役を竹本が務めた。

・SUZUKIMI「ひらく」ワークショップ（令和 4 年 9 月 20 日(火)～25 日（日）、参加者 6 名）

・関内外 OPEN！黄金町案内ツアー（令和 4 年 10 月 1 日(土)、参加者 7 名）

・瀧健太郎「突撃！ドクメンタ＋α報告会」（令和 4 年 10 月 23 日(金)、参加者 10 名）

・太田るなシャワ「ゾンビパレード影絵ワークショップ」（令和 4 年 10 月 29 日(木)～10 月 31 日(日)、参加者 25 名）

・竹本真紀「サステナブル・クリスマス展（京急百貨店)」展示作品制作

・SUZUKIMI「サステナブル・クリスマス展（京急百貨店)」展示作品のワークショップ（令和 4 年 11 月 19 日(土)～11 月 27 日(日)、参加者 21 名）

・安部泰輔ワークショップ（令和 5 年 2 月 10 日(金)～3 月 26 日(日)、参加者 159
名）

写真 11-2-2

ゾンビパレード影絵ワークショップの様子

11-2. はつこひアソビバ大作戦

横浜市立大学鈴木研究室並びに神奈川大学上野研究室が共同して、幼児・児童が黄金町エリアで様々な遊びを体験できる場作りとして「はつこひアソビバ大作戦」を開催した。黄金町エリアマネジメントセンターが主催となり、会場の提供や広報、申請手続き等の支援を行った。

当日は移動式あそび場全国ネットワーカー代表のかーびーさん（星野諭）を招聘し、かいだん広場および高架下スタジオ Site-D 集会場に滑り台等の様々な遊具が設置され、幼児・児童が体を動かす様々な遊びを体験していた。

日 程｜令和 4 年 11 月 26 日(土)

時 間｜11:00～16:00

会 場｜かいだん広場、高架下スタジオ Site-D 集会場

参加費｜無料

主 催｜黄金町エリアマネジメントセンター

共 催｜横浜市立大学鈴木研究室、神奈川大学上野研究室

総来場者数｜約 60 名

図 11-2-1 チラシ

写真 11-2-2、11-2-3　会場の様子

12. その他事業

12. その他事業

12-1.企業との連携

◆無印良品「発見祭」作品展示、ワークショップ（株式会社良品計画より受託）

無印良品港南台バーズ店(横浜市南区港南台)にて、令和 4 年 6 月 4 日(土)、5(日)に行われた「発見祭」にあわせ、レジデンスアーティストによる作品展示、ワークショップを行った。

RED Profile 作品展示

無印良品の「Re MUJI」プロジェクトにて回収した古着・シーツなどを再構築して洋服を制作した。
日 程｜令和 4 年 6 月 4 日(土)～6 月 26 日(日)
場 所｜無印良品港南台バーズ店
アーティスト｜RED Profile

写真 12-1-1、12-1-2　展示の様子

靴下の端材でつくるプラントハンガーづくり

靴下の製造工程で出る「靴下リング」という端材を活用し、色とサイズを選んでオリジナルのプラントハンガーをつくるワークショップを開催した。
日程｜令和 4 年 6 月 4 日(土)
場所｜無印良品家港南台バーズ店
アーティスト｜近あづき

写真 12-1-3、12-1-4　ワークショップの様子

◆サステナブルライフスタイルフェア（京急百貨店より受託）

京急百貨店の 26 周年記念企画の一環として、京急百貨店内において黄金町エリアマネジメントセンターのレジデンスアーティストによる作品展示、ワークショップ、また当団体のこれまでの活動における持続可能な社会のためのプロジェクトについてのパネル展示を行った。

展示

a)サステナブルアートの展示

日 程｜令和 4 年 9 月 29 日(木)～10 月 12 日(水)
場 所｜3 階正面入口ほか
アーティスト｜キム・ガウン、楊珪宋、 阿部道子、ストア森

b)サステナブルパネル展

日　程｜令和 4 年 10 月 6 日(木)-10 月 12 日(水)

場　所｜京急百貨店・ウィング上大岡 3 階連絡通路

写真 12-1-5　キム・ガウンの作品（撮影：笠木靖之）

写真 12-1-6　阿部道子の作品（撮影：笠木靖之）

写真 12-1-7　ストア森の展示（撮影：笠木靖之）

写真 12-1-8　パネル展示の様子（撮影：笠木靖之）

ワークショップ

a)オリジナルエコバッグ制作ワークショップ

日 程｜令和 4 年 10 月 8 日(土)～10 月 10 日(月祝)各日 4 回ずつ

場 所｜京急百貨店・ウィング上大岡 3 階連絡通路

講 師｜竹本真紀

b)ガラクタアートに挑戦

日 程｜令和 4 年 10 月 8 日(土)～10 月 9 日(日)各日 4 回ずつ

場 所｜京急百貨店・ウィング上大岡 3 階連絡通路

講 師｜山田裕介

写真 12-1-9、12-1-10　ワークショップの様子

12. その他事業

◆サステナブル・クリスマス（京急百貨店より受託）

【クリスマス ミュージアム】をテーマとした、「アート」と「サステナブル」を融合させた複数の企画のうちの一つとして、京急百貨店内において黄金町のレジデンスアーティストが作品を展示した。

日 程｜令和 4 年 12 月 1 日(木)～12 月 25 日(日)
場 所｜京急百貨店 3 階正面入口横ショーウィンドウ
アーティスト｜竹本真紀、SUZUKIMI

写真 12-1-11 竹本真紀の作品（撮影：笠木靖之）

写真 12-1-12 SUZUKIMI の作品（撮影：笠木靖之）

12-2.その他受託事業等

◆ECO meets ART 展(横浜市資源循環局より受託)

横浜市資源循環局の「プラごみ削減キャンペーン」の一環として、廃棄物やプラスチック問題などをテーマにしたアート作品展、ワークショップを企画した。

作品展示
日 程｜令和 4 年 6 月 10 日(金)～6 月 18 日(土)9:00-17:00
場 所｜横浜市役所 1 階
アーティスト｜三ツ山一志

ワークショップ：どうぶつお面を作ろう！
日 程｜令和 4 年 6 月 18 日(土)
場 所｜横浜市役所 1 階
アーティスト｜三ツ山一志

◆黄金町灯明ウォッチング

横浜都心臨海部で行われたイルミネーションイベント「ヨルノヨ」に関連して、京急高架下の空き地（通称ロックカク）にてペーパーランプを並べて地上絵を描くイベントを行った。LED のキャンドルライトを色のついた紙袋に入れ、それを約 2,000 個並べて地上絵を描いた。設営・撤去作業には、横浜市立大学の生徒やレジデンスアーティスト、黄金町バザールサポーター等も参加した。

日 程｜令和 4 年 12 月 9 日(金)16:00-19:00
場 所｜黄金町高架下広場「ロックカク」

写真 12-2-1、12-2-2　会場の様子

13. 広報

13-1. ウェブサイト

NPO の情報発信プラットフォームとして、黄金町エリアマネジメントセンター公式 web サイト「koganecho.net」の管理・運営を行っている。主に NPO 主催イベントや、協力団体やレジデンス・アーティスト等が初黄・日ノ出町地区で開催するイベント、展覧会の情報を掲載している。以下は、これらに関するアクセス解析である。

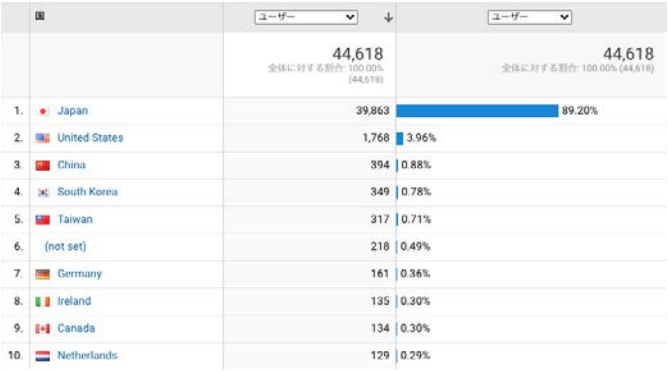
◆ユーザー解析

ユーザーの属性を解析すると、全体的な WEB へのアクセス数が減少した。アクセスの多い国は日本から順に、アメリカ、中国、韓国、台湾、アイルランド、カナダ、オランダとなる。全体アクセスの約 89%が国内からのアクセスによるもので、例年同様市内からのアクセスが最も多く、16.85%となった。ユーザーの利用環境としては、モバイル端末からのアクセスの割合が 63.18%と高い割合を占めている。

表 13-1-1　セッション数・アクセス数・ユーザー数の前年度との比較

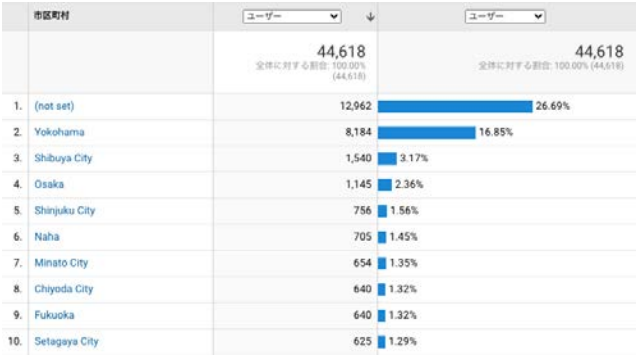
年　度	セッション数(件)	ページビュー数(件)	ユーザー数(人)
令和 3 年度	84,344	238,523	50,822
令和 4 年度	64,119	155,878	44,066

図 13-1-2　年間アクセスユーザー数の推移



	国	ユーザー	ユーザー
		44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)
1.	Japan	39,863	89.20%
2.	United States	1,768	3.96%
3.	China	394	0.88%
4.	South Korea	349	0.78%
5.	Taiwan	317	0.71%
6.	(not set)	218	0.49%
7.	Germany	161	0.36%
8.	Ireland	135	0.30%
9.	Canada	134	0.30%
10.	Netherlands	129	0.29%

図 13-1-3　閲覧率の高い国の詳細



	市区町村	ユーザー	ユーザー
		44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)
1.	(not set)	12,962	26.69%
2.	Yokohama	8,184	16.85%
3.	Shibuya City	1,540	3.17%
4.	Osaka	1,145	2.36%
5.	Shinjuku City	756	1.56%
6.	Naha	705	1.45%
7.	Minato City	654	1.35%
8.	Chiyoda City	640	1.32%
9.	Fukuoka	640	1.32%
10.	Setagaya City	625	1.29%

図 13-1-4　閲覧率の高い市の詳細

デバイス カテゴリ	ユーザー	ユーザー	全体に対する割合: ユーザー
	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	
1. mobile	28,132	63.18%	
2. desktop	15,548	34.92%	
3. tablet	847	1.90%	

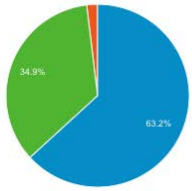


図 13-1-5　ユーザー利用環境比較

◆流入分析

ユーザーの流入元としては、前年度に比べて本年度は「Organic Search」、「Direct」の割合が増加し、「Referral」の比率が大幅に減少した。

Default Channel Grouping	ユーザー	ユーザー	全体に対する割合: ユーザー
	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	44,618 全体に対する割合: 100.00% (44,618)	
1. Organic Search	26,279	56.93%	
2. Direct	12,321	26.69%	
3. Social	5,039	10.92%	
4. Referral	2,516	5.45%	
5. (Other)	2	0.00%	

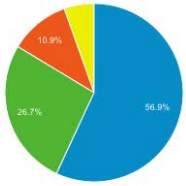


図 13-1-6　令和 4 年度 黄金町エリアマネジメントセンターウェブサイトへの流入先内訳

Default Channel Grouping	ユーザー	ユーザー	全体に対する割合: ユーザー
	51,589 全体に対する割合: 100.00% (51,589)	51,589 全体に対する割合: 100.00% (51,589)	
1. Organic Search	29,454	52.50%	
2. Direct	14,289	25.47%	
3. Social	6,384	11.38%	
4. Referral	5,977	10.65%	
5. (Other)	2	0.00%	

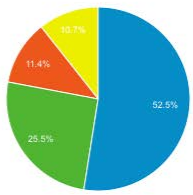


図 13-1-7　令和 3 年度 黄金町エリアマネジメントセンターウェブサイトへの流入先内訳

※図の項目について

・Organic Search：日本の検索エンジン等から

・Direct： URL の直接入力、ブックマーク、アプリ(LINE 等)、メール、QR コードから

・Referral：外部サイトからの流入

・Social：SNS からの流入

13-2. メールニュース

ブラストメールというメール一斉配信システムを活用し、主に NPO 主催の情報を案内している。NPO が行う情報発信の中では、最も登録者が受動的に情報を得ることができるサービスである。HTML メールを使わないことで、スマートフォンを使わない人にも広く読んでもらうことができている。

登録者数は 1,838 件（前年比＋76 件）、配信回数は 1 回のみとなった。告知等は SNS 中心で発信していたこともあり、メールニュースの配信回数は前年度よりも大幅に減少した。

※加えてバザールサポーター向けの配信が 5 回あった。内容はサポーター活動の参加者募集や報告など。

13-3. SNS（Facebook／Twitter／Instagram／Youtube）

Facebook、Twitter、Instagram、Youtube において、当 NPO の公式アカウントを持ち、情報発信ツールとして活用している。

◆Facebook （アカウント名 @koganechobazaar）

フォロワー数｜5,422 件（前年比＋82）

Facebook アカウントでは、他の SNS ツールに比べ最もオフィシャルな情報を投稿している。インフォメーションや、展覧会・イベント情報に加え、レジデンス・アーティストの黄金町外での活動情報も発信している。フォロワーの数は 5,422 件で、前年度から 82 件増加した。Facebook フォロワーの割合は女性が 55%、男性が 44%で、35～44 才に属する人が最も多いが、投稿へアクションを実行するユーザーは 45～54 才が多い。他の SNS ツールに比べ、アクティブアカウントの年齢層が高いといえる。

図 13-3-1 Facebook アカウント

◆Twitter（アカウント名 @koganechobazaar）

フォロワー数｜ 4,703 件（前年比＋63）

気軽に情報を拡散することができるメディアとして活用している。フォロワー数は 4,703 件で前年度から 63 件増加した。1 投稿に対するいいね！やリツイートの数は他 SNS アカウントと比較すると少ないが、定期的・頻繁に投稿することでユーザーにリアルタイムな情報を行き渡らせることができるメディアである。また、他アカウントの投稿にいいね！やリツイートなどで反応することで、地域の施設や組織とのコミュニケーションにつながることが期待される。

図 13-3-2 Twitter アカウント

◆Instagram（アカウント名 @koganechoamc）

フォロワー数｜1825 件（前年比＋175）

黄金町で実施する展覧会や各種イベントの情報の他、展覧会等催事の様子、まちの風景など、最もカジュアルかつイメージ伝達を意識した情報を発信している。フォロワー数は 1825 件で前年度から 175 件増加した。他の SNS アカウントに比べフォロワー数は少ないが、エンゲージメント率（投稿をリー

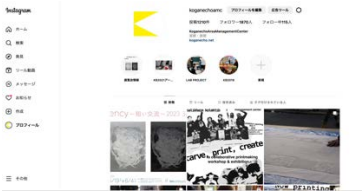


図 13-3-3 Instagram アカウント

チしたユーザーに対し、いいね！やコメント、投稿の保存等、アクションを起こしたユーザーの割合）が非常に高く、多くのユーザーが利用していることがうかがえる。アカウントページにアーカイブされる通常投稿に加えて、24 時間で消える手軽なストーリー機能の双方を上手く使い分けることが重要であると考える。

◆YouTube

チャンネル登録者数 ｜156 件（前年比＋46 件）

展覧会のアーカイブ映像や、タレントを起用してのプロモーション動画、アーティストトークのライブ配信など、様々な場面で活用することができるツール。本年度は展覧会に参加したレジデンス・アーティストへのインタビュー映像動画を撮影、公開した。今後も残りの滞在アーティストのインタビュー映像を撮影、順次 YouTube チャンネルにアップロードする予定である。

図 13-3-4　Instagram アカウント

表 13-3-5　NPO 主催で作成・公開した動画

内容	公開期間	再生回数
黄金町国際 AIR プログラム 2022 平野真弓＋小川希オンライントークイベント Mayumi Hirano + Nozomu Ogawa’s Online Talk Event	2022/10/1～	107
黄金町国際 AIR プログラム 2022「交流再来」/ Koganecho International AIR Program 2022 "Return of exchange"	2022/12/22～	134
太田るなシャワ：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	194
宮地祥平：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	255
照沼晃子：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	55
楊珪宋：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	90
橋村至星：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	49
福井祐介：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/12～	110
副島しのぶ：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	83
SUZUKIMI：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	68
寺島大介：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	82
近あづき：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	65
神田 茉莉乃：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	59
平山好哉：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	53
キム・ガウン：黄金町 AIR アーティストインタビュー	2023/1/13～	523
Artist’s Network FUKUOKA 2023 [第一部] IAF の時代　参加アーティストインタビュー	2023/3/20	112
照沼敦朗：韓国・光州広域市レジデンス報告会	2023/3/27	51

13-4. パンフレット

一前年度新しく作成した NPO の法人パンフレットを増刷し、AIR 事業のパンフレットは本年度度用に編集し新たに作成した。

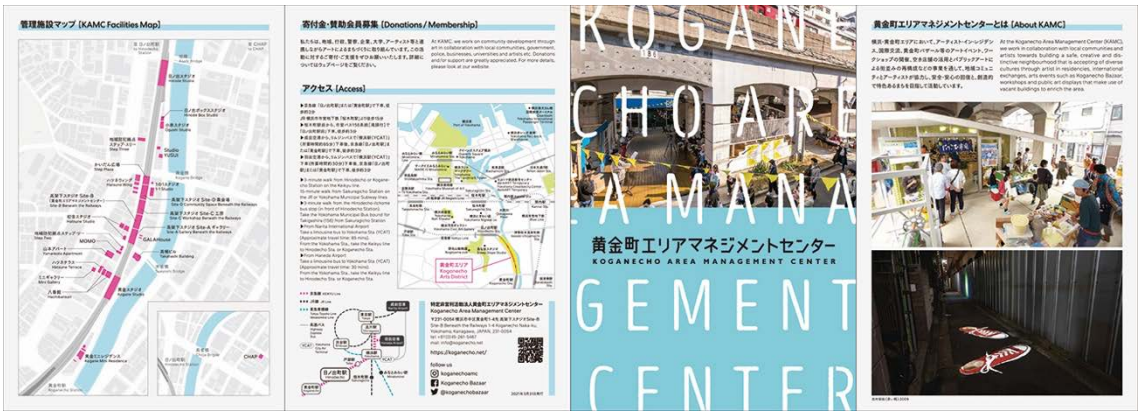


図 13-4-1　NPO 法人パンフレット

図 13-4-2　AIR 事業パンフレット

13-5. メディア出演・掲載実績

毎年メディア掲載内容の 8〜9 割以上を占める黄金町バザールを開催しなかった本年は、実績が例年より大幅に少ない年となった。しかし年末年始に立て続いた全国区でのテレビ放送では、レジデンス・アーティストの普段の活動が取材されたことで、バザール期間以外の黄金町で行われている取り組みにスポットが当たる良い機会となった。

表 13-5-1　前年度との掲載件数比較

年度	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌	フリーペーパー	ウェブ	その他	合計
令和 3 年度	7	1	8	5	5	61	44	131
令和 4 年度	4	3	0	1	3	3	0	14

表 13-5-2　メディア掲載リスト

掲載日	媒体名	区分	内容
7 月 8 日	旅うらら横濱ガイド MAP vol. 18 summer	フリーペーパー	黄金町アートブックバザール紹介
7 月 20 日	プラウド横浜阪東橋（野村不動産）	WEB	黄金町エリアの紹介
8 月 10 日	ジャックアンドベティ会報誌	フリーペーパー	黄金町アートブックバザール紹介
8 月 20 日	散歩の達人 9 月号	雑誌	黄金町アートブックバザール紹介
8 月 23 日	神奈川新聞	新聞	子どもバザール紹介
9 月 4 日	TBS ドラマ「彼女、お借りします」7 話	テレビ	
9 月 26 日	関東学院大学　広報課 Web ページ	WEB	子どもバザール紹介
10 月 3 日	旅うらら横濱ガイド MAP vol. 18 autumn	フリーペーパー	黄金町アートブックバザール紹介
10 月 6 日	東京新聞	新聞	交流再来展示紹介
10 月 9 日	朝日新聞	新聞	交流再来展示紹介
10 月 14 日	横浜 COCOON	WEB	NPO 事業紹介
11 月 8 日	朝日放送「相席食堂」	テレビ	黄金町アーティストの紹介
12 月 10 日	日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」	テレビ	黄金町アーティストの紹介
1 月 14 日	フジテレビ「タカトシ・温水の路線バスで！」	テレビ	黄金町アーティストの紹介
3 月 24 日	西日本新聞	新聞	福岡展第 2 部の紹介

13-6. 視察・ヒアリング実績

本年度は視察・ヒアリングを計 16 件対応した。前年度より現地での対面対応が増加し、訪問人数は 129 名（前年比＋64 名）だった。

表 13-6-1　前年度との比較

年度	国内	海外	国内・海外	合計
令和 3 年度	14 件	0 件	0 件	14 件
令和 4 年度	18 件	2 件	1 件	21 件

表 13-6-2　視察対応実績

訪問日	訪問者	地域	人数	対応
4 月 8 日	良品計画	横浜市	3 名	山野
5 月 27 日	早稲田大学創造理工学部建築学科有賀研究室	東京都	33 名	山野・西倉
7 月 4 日	高倉貴子（大分県日田市議会市議会議員）	大分県	1 名	山野・西倉
8 月 22 日	株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン	東京都	8 名	西倉
9 月 5 日	伊澤光之輔（NHK ディレクター）	東京都	1 名	山野
9 月 7 日	実践女子大学人間社会学部人間社会学科	東京都	1 名	山野・西倉
9 月 22 日	名古屋藤尾ヶ丘街づくり協議会	愛知県	8 名	西倉
9 月 23 日	（株）みたて	京都府	5 名	西倉
11 月 2 日	獨協大学 外国語学部 交流文化学科	東京都	1 名	山野・西倉
11 月 4 日	学校法人石川学園横浜デザイン学院	横浜市	20 名	山野・西倉
11 月 10 日	東京学芸大学 教育学部	東京都	1 名	山野・西倉
12 月 19 日	名古屋まちづくり公社	愛知県	5 名	西倉
12 月 22 日	康津郡（カンジングン、郡守（グンス：郡の代表者）を含む行政の団体 （建設課 / 農漁村開発推進課 / 康津郡 議員）	韓国	17 名	山野・西倉
12 月 23 日	日韓交流支援センター（高校生）	韓国	23 名	山野・西倉
1 月 10 日	明治大学農学部食料環境政策学科	東京都	1 名	西倉
1 月 11 日	工学院大学大学院	東京都	1 名	山野桂
1 月 13 日	名古屋まちづくり公社	愛知県	2 名	西倉
1 月 13 日	都市研究所スペーシア	愛知県	2 名	西倉
1 月 31 日	（株）みたて	京都府・イギリス	9 名	西倉
2 月 9 日	株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン	東京都	7 名	西倉
2 月 22 日	野村不動産㈱　事業創発本部	東京都	5 名	西倉

外部講演（プレゼンテーション）実績

外部講演に関して国内での実施はなかったが、韓国 3 都市で NPO の事業や黄金町エリアのまちづくりを紹介するプレゼンテーションを行った。（詳細は「3_国際交流」を参照。）

表 13-6-3　前年度との比較

年度	国内	海外	合計
令和 3 年度	0 件	0 件	0 件
令和 4 年度	0 件	3 件	3 件